

# 募集要項2023

---

- ・正科生
- ・科目等履修生(特例)
- ・科目等履修生(一般)



小田原短期大学

*Odawara Junior College*

保育学科 通信教育課程(男女共学)

# 小田原短期大学 保育学科 通信教育課程

## 【教育理念】

技能と心の調和

## 【教育目標】

- 1 自他ともに敬い愛する人として教育する
- 2 豊かな知性と感性溢れる人として教育する
- 3 健やかな家庭 社会を担う人として教育する

## 【アドミッションポリシー(入学者受け入れの方針)】

### ◆保育学科 通信教育課程

本課程は、建学の精神に基礎を置き、教育理念・教育目標に定める人材を育成する目的にそって、入学者を適正に選抜するための選抜方法を実施します。本課程に入学する人として、保育の専門的な学びを身につけて社会で活躍できる知識・技能を身につけようとする目的意識や意欲的に学ぼうとする姿勢を持ち、保育分野の知識と課題解決力を身につけるための基礎的学力を有する人を期待します。

- 1 高等学校（またはこれに準ずる学校）の教育課程を修得している。
- 2 高等学校（またはこれに準ずる学校）の修得科目のうち、「国語（現代文）」を通じて、読む・書く・自らの意見や考えを伝えるという基礎的な能力を身につけている。
- 3 様々な問題について、自らの知識や情報をもとにして、わかりやすく人に説明することができる。
- 4 子どもの発達やかかわり方に興味関心があり、基礎的な学力と思考力・行動力を有している。
- 5 子どもや保護者などの支援をするために幼稚園教諭になろうという意欲がある。
- 6 入学前に求められる、基礎的な知識、学ぶ姿勢を身につけている。

※本学 通信教育課程のホームページ参照



## 保育学科 通信教育課程

〒250-0045 神奈川県小田原市城山4-5-1

TEL 0465-22-0285（代表）

MAIL [tsushin@odawara.ac.jp](mailto:tsushin@odawara.ac.jp)

URL <https://tsushin.odawara.ac.jp/>

# 目次

教育理念  
教育目標  
アドミッションポリシー

- 通信教育課程 概要 ..... 2
- 出願から学習開始まで ..... 4  
＜インターネット出願に関して＞

## 正科生

- 正科生 概要 ..... 6
- 募集について ..... 6
- 既修得単位・資格等による単位認定 ..... 10
- 既修得単位・資格等による単位認定希望申請書 ..... 11
- 学費（募集コース別学費） ..... 12
- 開講科目一覧 ..... 13
- 科目の概要 ..... 14
- 教員免許・資格読替表 ..... 18  
幼稚園教諭二種免許状  
保育士資格  
社会福祉主事任用資格
- 各種実習について ..... 21
- Q & A よくある質問 ..... 23
- 学費のサポート ..... 25
- 出願書類確認表 ..... 26

## 科目等履修生（特例）

- 科目等履修生（特例）概要 ..... 27
- 募集について ..... 28
- 開講科目一覧 ..... 31
- Q & A よくある質問 ..... 32
- 出願書類確認表 ..... 33
- 履修登録確認表 ..... 33

## 科目等履修生（一般）

- 科目等履修生（一般）概要 ..... 34
- 募集について ..... 34
- 出願書類確認表 ..... 37
- 履修登録確認表 ..... 37

アクセスマップ

正科生

科目等履修生  
（特例）

科目等履修生  
（一般）

# 通信教育課程 概要

## 募集学籍

### ◆正科生

大学入学資格を有し、正規の短期大学課程の卒業を目指す方を指します。卒業に必要な科目の履修に加え、資格取得に必要な授業科目を履修することで、卒業とあわせて幼稚園教諭二種免許状の取得を目指すことができます。

### ◆専攻科生

正科生の課程を修了した学生が保育士資格の取得に必要な科目を履修することができ、修了とあわせて保育士資格と幼稚園教諭二種免許状の取得を目指すことができます。

### ◆科目等履修生〈特例〉

基礎資格のある方が、幼稚園教諭免許状（一種/二種）・保育士資格を取得するために必要な科目だけを履修することを目的とした制度です。

### ◆科目等履修生〈一般〉

卒業や資格、免許取得を目的とせず、本学開講科目に興味のある方が、幼児教育・保育分野への理解を深める目的で学習をすることができます。

## ★必ずお読みください

### ◆パソコン環境について [必須]

本学の通信教育課程では、学習をすすめるにあたりパソコンとインターネット通信（有線）を利用します。（必須）スクリーニング・科目修得試験の申し込み・受験などに必要なパソコンスキルは、学生各自が行えることを前提としています。また、学習の上で、メールアドレスが必ず必要となります。（携帯メール不可）

#### 《必要とするパソコンのスキル》

- インターネットへの接続ができる
- emailで添付ファイルの送受信ができる
- プリントアウトができる
- Microsoft Wordを利用して日本語入力ができ、レポートや論文などの文書の作成ができる
- 動画が再生できる
- Web上のファイルをダウンロードができる
- Microsoft Excelを利用して簡単な関数による表計算ができる
- PDFファイルが閲覧できる

#### 《推奨するパソコン環境》 ※更新の可能性あり

①推奨 OS	Windows 10以上 MacOSX 10.7以上 Android 5.0以上 iOS 10.0以上	⑤メモリ	4GB 以上（8GB以上を推奨）
②対応ブラウザ	Chrome 32以上〈推奨〉 Safari 6以上	⑥ソフトウェア	Adobe Reader 最新版
③推奨 CPU	Intel Coreシリーズ AMD Ryzanシリーズ、Mac	⑦通信回線	実効速度700kbps以上（1MBbps以上の回線を推奨）
④Microsoft Office	不要 ※入学後に利用できるIDをお知らせします	⑧その他	プリンタ アンチウイルスソフト(Windows Defender ※無償) など

※セキュリティについては、自己責任・自己管理をお願いしています。  
※ CoLS の推奨ブラウザは Chrome です。

## 学習方法

### ◆テキスト履修（この募集要項では「T」と表記）

※中間試験・科目修得試験はWeb試験になります。

教科書や学習の手引きを使用した自宅学習のことで、1科目につき、中間試験・科目修得試験をそれぞれ受験し合格することで、単位修得となります。中間試験及び科目修得試験はWebでの受験となります。来校が不要で、自宅等で自分のペースで学習することができるため、個人のライフスタイルにあわせた学び方が可能です。また、質問や相談などがしやすいきめ細やかなサポート体制を用意しています。

### ◆スクーリング履修（この募集要項では「S」と表記）

授業の特性上、面接授業によって教育効果がより得られると考えられる科目については、スクーリングによる授業を行います。本学では年間約20日程のスクーリングを設けています。

ほとんどの科目において年2回程度開講していますので、履修登録をして参加可能な日程に受講してください。スクーリング履修には、対面授業によるスクーリングと遠隔授業によるスクーリングがあります。

対面授業のスクーリング会場は、小田原短期大学（本校）または延岡スクール・登米スクール・千歳スクールにて実施いたします。

遠隔授業では、動画の視聴及び授業内で実施する課題等に合格することで、単位修得となります。また、教育実習など実習による履修もスクーリング履修となります。

スクーリング履修では、授業への出席と、授業内で実施する課題等に合格することで、単位修得となります。

## サポート体制

### ◆質疑応答・コミュニケーション

本学では学習支援システム『CoLS』の活用により、学習のサポートを行っています。

#### CoLSとは・・・

自宅等のパソコンなどからアクセスすることで、通信学習の補助、学校からのお知らせの閲覧、各種手続き等ができるシステム。高度なパソコンスキルがなくても簡単に操作できるシステムです。

#### CoLSでできること

- ・お知らせ確認
- ・履修登録
- ・遠隔授業の受講
- ・科目修得試験、スクーリング等の申し込み
- ・成績確認
- ・副教材ダウンロード
- ・科目修得試験の受験

### ◆授業・学習内容について

本学ではオフィスアワーを設けています。

オフィスアワーでは、科目担当教員へ質問や相談をすることができます。

直接来校しての相談はもちろんですが、メール等を利用することも可能です。

### ◆学生生活について

基本的な教育指導は科目担当者が行いますが、その補助としてキャンパスアドバイザーが学生生活のサポートや履修指導、教育指導補助等の役割を担っています。わからないこと等があったときには、いつでもご相談ください。

## 個人情報の取り扱いについて

### ◆資料請求

本学では資料のご請求にあたってお知らせいただいた住所・氏名・その他の個人情報は、安全管理のため必要な処置を講じております。お知らせいただいた情報につきましては、資料送付を目的として使用するほか、本学通信教育課程が全国各地で実施します入学説明会のご案内等、入学希望者への情報提供を目的として使用いたします。

### ◆入学後

出願に際し提出いただいた住所・氏名・その他の個人情報は、安全管理のため必要な処置を講じております。これらの情報は「入学選考」「教材等の送付」「教育・学習支援および大学行事」「同窓会に関する書類送付」とこれらに付随する事項での使用を目的としていますので、あらかじめご了承ください。

# 出願から学習開始まで

通信教育課程ホームページからご出願ください。  
URL:<https://tsushin.odawara.ac.jp/>

出願前	1. 出願書類の準備～出願		
	【必要書類】		
	正科生	科目等履修生(特例)	科目等履修生(一般)
	・入学志願書① ★1 ・入学志願書② ・誓約書・保証書・同意書 ★2	・登録志願書 ★1  ・誓約書・保証書・同意書 ★2	・登録志願書 ★1  ・誓約書・保証書・同意書 ★2
出願後	・健康診断書 ・学生証作成台紙 ・入学資格を証明する書類 (卒業証明書・成績証明書等)	・登録資格を証明する書類 (取得見込証明書は不可)	・登録資格を証明する書類 (卒業証明書・成績証明書等)  ※「科目選択」を希望の方は、別途 「履修申請書」が必要です。
	★1 インターネットからの出願、入学検定料あるいは登録料を納入後、各種「志願書」をダウンロードし、ご提出ください。 ★2 通信教育課程ホームページの事前ダウンロードページから印刷してください。		
	2. 入学審査	2. 登録審査	
学習準備 ～開始	書類選考を行います。		
	3. 通知の受取		
	書類選考を通過された方には、入学許可書あるいは登録許可書を送付します。 あわせて学費納付依頼に関する書類と振込票を送付しますので、指定期間内に指定の方法で納入いただくことで入学あるいは登録手続きが完了となります。		
4. 必要書類の受取			
学習を開始するために必要な書類を送付します。			
5. 履修登録、教材購入手続き～受取	5. 教材購入手続き～受取		
Web上にて履修申請をします。 インターネットの専用サイトにて ご自身で購入します。	インターネットの専用サイトにてご自身で購入します。		
6. 学習開始			

- 住所変更の予定がある方へ  
事務手続きが遅れ学習開始に支障がでないよう、必ず本学 通信教育部までご連絡ください。

## 【インターネット出願に関して】

### インターネット出願の流れ



## <納入方法>

①コンビニエンスストア

②クレジットカード

③Pay-easy(ペイジー)・ATM

④Pay-easy(ペイジー)・ネットバンキング

<利用可能なクレジットカード会社>



## <注意事項>

- ・本学保育学科通信教育課程の出願はインターネットを利用した「インターネット出願」のみとなります。出願方法等については、本ご案内及びインターネット上の各ご案内をご参照ください。
- ・入学検定料あるいは登録料の納入と出願書類一式のご提出に漏れがある場合、受付はできません。
- ・一度納入した入学検定料あるいは登録料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・インターネット出願サイトでの出願登録をただけでは、正式な出願となりません。

## インターネット出願前の準備

### ①必要なインターネットの環境

パソコン	Windows : GoogleChrome(最新バージョン) Firefox(最新バージョン) Microsoft Edge(最新バージョン)
	MacOS : Safari(最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android : 5.0 以上 iOS : 10.0 以上

### ②プリンタ

#### ■印刷機器

必要書類等のファイルを印刷するために、印刷できる機器(プリンタ)が必要となります。自宅にプリンタが無い場合は、ファイルを印刷できる環境を確認しておいてください。

#### ■コンビニでの印刷

店舗・サービスによっては有料になる場合がありますのでご注意ください。

#### (1)メディアリーダー装置のコピー機がある一部のコンビニエンスストア

各種メディアに作成・ダウンロードした出願書類などのPDFファイルを入れて持参し店頭で印刷することができます。(詳細は各店舗・サービス会社にお問い合わせください)

#### (2)コンビニエンスストアのネットプリントサービス

インターネット経由でファイルをアップロードし、コンビニエンスストア店頭のコピー機で印刷するサービスを利用することができます。

※利用登録が必要な有料サービスです。詳細は「コンビニ プrint」などで検索してください。

### ③電子メールアドレス

#### ※メールアドレスについて

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール(Gmail やYahoo! メールなど)や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン(@odawara.ac.jp)を受信指定してください。

出願登録完了時・入学検定料あるいは登録料の納入完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

### ④封筒：市販の角2封筒(A4サイズの書類が入る封筒)

入学志願書等の出願書類一式(募集要項「出願書類確認表」)を同封し、封筒表紙に「封筒貼付用宛名シート」※を貼り付けて、本学まで郵送ください。

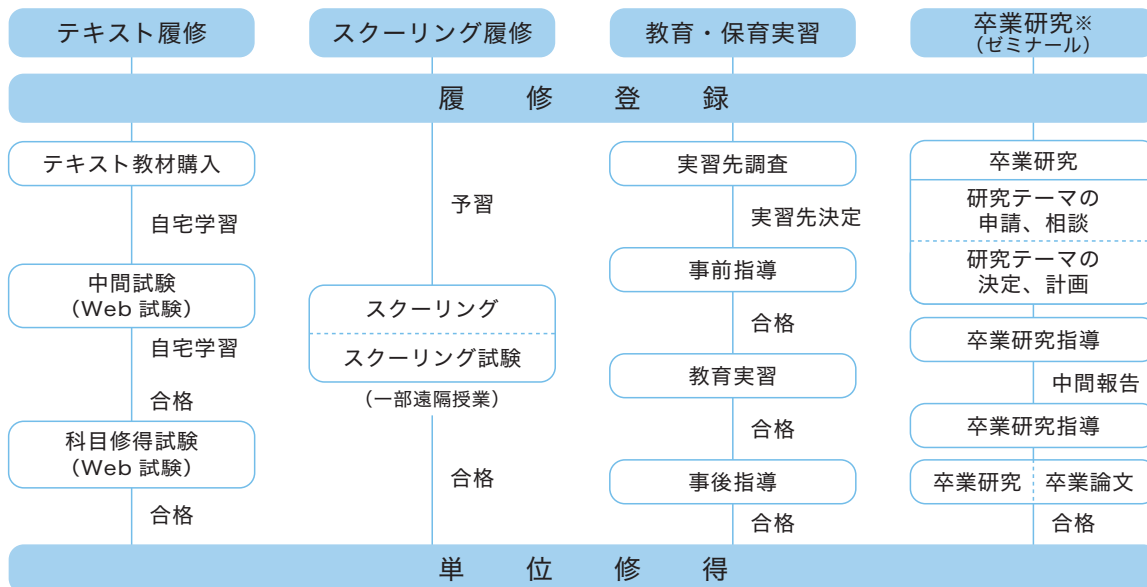
※出願サイトからダウンロードしてください。

# 正科生 概要

## ◆正科生

大学入学資格を有し、正規の短期大学課程の卒業を目指す方を指します。卒業に必要な科目の履修に加え、資格取得に必要な授業科目を履修することで、卒業とあわせて幼稚園教諭二種免許状の取得を目指すことができます。

## 学習の流れ



※卒業研究（ゼミナール）は選択科目です。

# 募集について

## 1. 募集人数・取得が目指せる資格・免許状

学科	コース	修業年限	入学定員	取得が目指せる主な資格・免許状
保育学科 通信教育課程	こども教育コース	2年課程	2,200名	幼稚園教諭二種免許状
	こども保育コース	2年課程+専攻科(1年)		幼稚園教諭二種免許状 保育士資格

- ・修業年限を超えても卒業要件を充足していない場合は、所定の授業料を納入することにより引き続き最大4年まで在学することができます。
- ・こども保育コースは500名を上限とします。
- ・スクーリング会場は、小田原短期大学（本校）または延岡スクール・登米スクール・千歳スクールにて実施いたします。なお、原則入学後のスクーリング会場の変更はできません。



## 2. 入学資格

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者（2023年3月卒業見込も可）
  - (2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者（2023年3月卒業見込・修了見込も可）
  - (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者）
  - (4) 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者）
  - (5) 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
  - (6) 我が国において、外国の高等学校相当として指定された外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程を修了した者）
  - (7) 高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した者（2023年3月修了見込も可）
  - (8) 指定された専修学校の高等課程を修了した者（2023年3月修了見込も可）
  - (9) 旧制学校等を修了した者
  - (10) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルを保有する者
  - (11) 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者
  - (12) 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者
- ・在学期間中、日本に在住していることも入学条件となります。

※以下は入学資格ではありませんが、入学後必要とされるスキルです（選考には関係ありません）

### 《必要とするパソコンのスキル》

- インターネットへの接続ができる
- emailで添付ファイルの送受信ができる
- プリントアウトができる
- Microsoft Wordを利用して日本語入力ができ、レポートや論文などの文書の作成ができる
- 動画が再生できる
- Web上のファイルをダウンロードできる
- Microsoft Excelを利用して簡単な関数による表計算ができる
- PDFファイルが閲覧できる

## 3. 出願日程

出願日程については以下の通りです。出願期間の途中で定員を満たした場合、それ以降の募集は実施いたしませんので予めご了承ください。なお、定員を満たした場合は、ホームページ上にてお知らせいたしますので、随時ご確認ください。

入学期	出願期間	可否通知発送日	授業料納入期間
4月	2022年10月1日 } 2023年3月31日	出願受付後、1～2ヶ月程度	書類到着後、2週間以内

※出願書類の提出は、2023年3月31日消印有効です。

※インターネットからの出願に加え、出願書類一式の提出をもって出願とします。

書類選考にて、入学審査を実施します。学力試験等はありません。

選考結果は可否通知書類にてご確認ください。

※書類不備は、結果通知が遅れる最大の原因となります。出願前に不備が無いか、確認をお願いします。

※不許可の理由についてのお問い合わせは、一切回答できかねますのでご了承ください。

## 4. 出願に必要な書類

ご提出いただく書類	留意事項	
1 入学志願書①	指定箇所に写真を貼り付けてください。(カラー、3ヶ月以内に撮影した証明写真)	
2 入学志願書②	3つの項目について、あなたの考えを記述してください。(手書き)	
3 誓約書・保証書・同意書	事前ダウンロードページから印刷してご記入ください。	
4 健康診断書	出願前6ヶ月以内に発行されたものをご提出ください。	
5 学生証作成台紙	作成台紙は、写真入り学生証を作成するための用紙です。 写真は、学生証用として複数年使用することになります。	
6 入学資格を証明する書類  <その他(入学関係書類)>	・最終学校の卒業(見込)証明書	
	・高等学校卒業程度認定試験合格者	高等学校卒業程度認定試験合格証
	・外国の学校を卒業された方 (いずれかの書類を提出) ※1	最終学校の卒業(見込)証明書
		調査書(最終卒業学校作成、厳封のこと)
		国際バカロレア資格証書
・外国籍の方	特別永住者証明書または在留カードの写し 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書 ※2	

1 は『Post@net』、2・3・5 は『通信教育課程ホームページ』よりダウンロードできます。  
詳細につきましては、通信教育課程ホームページ『インターネット出願ガイド』をご参照ください。

- ・ 証明書類はすべて出願前6ヶ月以内のものを提出してください。いずれもコピー不可とします。
- ・ 卒業見込の場合は、卒業証明書の代わりに「卒業見込証明書」をご提出ください。  
また、卒業が確定し次第、早急に卒業証明書をご提出ください。提出期限は4月末日となります。  
期日までに提出がない場合は、入学許可を取り消しますのでご注意ください。

※1 日本語あるいは英語以外の証明書を提出する場合は、証明書の翻訳文を添付してください。

※2 該当の方のみ

## 5. 出願にあたっての注意

### 《出願書類提出後の取り扱いについて》

1. 出願書類受理後、随時書類選考を行い、合格した方には「合格通知書」を送付します。
2. 一度受理された書類の返還および記載内容の変更、ならびに納入された入学検定料の返還は致しません。
3. 入学資格および出願書類に誤りや虚偽等があった場合には、出願や合格・入学を取り消す場合がございます。

### 《日本国籍以外の方の出願について》

在留資格が留学ビザの方は、通信教育課程では出願できません。入学を希望する場合には、「留学ビザ」・「就学ビザ」以外で相当の年数、日本に在住できる適切な在留資格を有する必要があります。国内在住の外国人の入学に関するご質問は通信教育部までご連絡ください。なお、本学では日本語の教材を用いた学習、日本語によるスクーリング授業以外は開講していません。日本語能力検定1級程度の語学力を望ましい基準としています。

### 《海外の高等学校や短期大学・大学を卒業し、入学を希望する方について》

出願資格の確認をいたしますので、出願する前に予め本学にご連絡ください。また、出願の際は、日本語の添えられた卒業証明書・成績証明書の提出が必要となります。

### 二重学籍の禁止

下記に該当する方は、正科生として入学することはできません。

- ・学校教育法第1条に定める高等専門学校、短期大学（専攻科を含む）、大学、大学院に在籍している方
  - ・文部科学大臣の指定する教員養成機関等に在籍している方
- \* 本学の場合、他校の科目等履修生は二重学籍の対象にはなりません。

## 6. 入学検定料

入学検定料の納入後に、出願書類のダウンロードができます。入学検定料を納入していない方の出願は認められません。

一度納入した入学検定料は、いかなる事情があっても返還いたしませんのでご注意ください。

入学検定料 10,000 円

《納入方法》

通信教育課程HP内『インターネット出願ガイド』に各種納入方法が記載してありますので、ご参照ください。  
(通信URL <https://tsushin.odawara.ac.jp/>)

# 既修得単位・資格等による単位認定

入学前に他短期大学・他大学で修得した単位・取得した資格等について、ご出願の際に出願書類と併せて必要書類を提出していただくことで、審査を経て、教育上有益であると認められた場合に限り、合格発表後に本学での履修により修得した単位として認定を行うことが可能です。

認定された科目は、原則として本学において改めて履修（授業への聴講・出席含む）することは出来ませんのでご注意ください。

## ＜既修得単位による単位認定＞

個々の科目について、申請に基づき単位認定の可否を判断いたします。

対象の方	申請期間	認定単位	必要書類
他短期大学・他大学等で既に単位を修得している方	出願期間内	最大30単位	①既修得単位・資格等による単位認定希望申請書(別紙) ②出願前6ヶ月以内に発行された成績証明書(評価入り) ③履修当時の当該大学における履修科目のシラバス(写し) ④「日本国憲法」、「情報処理論」、「英語」、「健康スポーツ理論」、「健康スポーツ実技」(幼稚園教諭2種免許状に関する科目)について一括で申請する場合は、「学力に関する証明書(教育職員免許法施行規則第66条6に定める科目)」及び「教員免許状(種別は問わず)」(写し)

※単位修得年度と異なるシラバスの場合、審査ができません。

※学力に関する証明書は、出身大学に発行依頼してください。

※原則として、専門科目に関しては、保育士養成指定校で取得した単位以外は認定できません。

## ＜資格による単位認定＞

申請に基づき、単位認定の可否を判断いたします。対象資格は以下のいずれか1つです。

対象の方	申請期間	対象資格※取得時期問わず	本学認定科目	必要書類
他短期大学・他大学等を卒業又は中途退学した方で対象資格を取得している方	出願期間内	・英検準2級 ・TOEIC400 ・TOEFL(旧式)420 ・TOEFL(IBT)38 ・TOEFL(CBT)120	・英語 (2単位)	①既修得単位・資格等による単位認定希望申請書(別紙) ②資格証明書の写し
		・応用情報技術者試験(AP) ※ i ・基本情報技術者試験(FE) ※ ii	・情報処理論 (2単位)	

※ i・ii 情報処理の促進に関する法律第29条第1項に基づき、経済産業大臣が認定する国家試験「情報処理技術者試験」の12ある区分の中の一つです。情報処理技術者試験制度の1から4で設定されているスキルレベルのうち、応用情報技術者試験はスキルレベル3、基本情報技術者試験はスキルレベル2に相当しています。

■単位認定における可否の理由などに関する質問にはお答えしておりません。あらかじめご了承ください。

■既修得単位・資格等による単位認定希望申請書は、次頁をコピーして記入、あるいは、通信教育課程ホームページよりダウンロードできます。



# 学費（募集コース別学費）

合格通知発送後に納入していただく学費は以下の通りです。

## ①こども教育コース

（修業年数：2年、幼稚園教諭二種免許状）

《学費内訳》 単位（円）

	1年次	2年次
入学金	20,000	0
授業料	270,000	270,000
学習管理料	5,000	5,000
小計	295,000	275,000

《諸経費内訳》

	1年次	2年次
同窓会	0	5,000
卒業記念品費	0	3,000
小計	0	8,000

《総合計》

	1年次	2年次
前期	157,500	145,500
後期	137,500	137,500
合計	295,000	283,000

## ②こども保育コース

（修業年数：3年、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格）

単位（円）

	1年次	2年次	専攻科
入学金	20,000	0	0
授業料	270,000	270,000	30,000
学習管理料	5,000	5,000	5,000
小計	295,000	275,000	35,000

	1年次	2年次	専攻科
同窓会	0	5,000	0
卒業記念品費	0	3,000	0
小計	0	8,000	0

	1年次	2年次	専攻科
前期	157,500	145,500	(年間) 35,000
後期	137,500	137,500	
合計	295,000	283,000	35,000

※授業料には、科目修得試験の受験料、再試験料（年度内に限る）、スクーリング受講料、団体保険料、付帯賠償責任保険料が含まれています。  
※その他、証明書発行等のご希望による諸経費については都度の徴収となります。  
※文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

## 《別途かかる費用》

### ①実習費（教育実習・保育実習）

上記実習に参加する場合には、実習科目1単位ごとに実習費がかかります。

実習費 10,000円/1単位ごと

### ②テキスト代

履修する科目により異なりますが、年間50,000円程度となります。  
また、実習に使用する「実習の手引き」や「実習日誌」は1冊あたり1,000円程度を予定しています。

### ③免許・資格申請料

幼稚園教諭二種免許状・保育士資格を取得する為の申請料がかかります。  
いずれも手数料含め5,000円前後となります。

## 《在学延長について》

仕事や家事などの理由により最短修業年限で卒業に必要な単位が修得できなかった場合、不足の単位を修得できるまで在籍延長することができます。

### ◆正科生（最長在学期間 4年）

授業料：80,000円/年間、学習管理料：5,000円/年間となります。

### ◆専攻科（最長在籍期間 2年）

授業料：30,000円/年間、学習管理料：5,000円/年間となります。

## 《学費の納入方法》

合格後の入学書類とあわせて、指定銀行の振込用紙をお送りしますので、期日までに納入してください。  
なお、学費は年額を2回に分けて分納（前期・後期）となります。

## 《注意事項》

1. 学費は入学検定料とは異なり、指定銀行の振込用紙を使用した納入となります。
2. 一度提出した入学手続書類や学費等は、原則として返還できません。ただし、3月31日正午までに入学取消に関する書類（本学所定用紙）を提出・受理された場合、入学金を除く学費のみを返還することができます。十分にご検討の上、納入してください。

# 開講科目一覽

## 《卒業要件》

所定の必修単位12単位及び、選択科目50単位以上を修得し、合計62単位以上を修得すること。

このうち、15単位以上は、スクーリング科目履修であること。

※T=テキスト履修 S=スクーリング履修

※履修登録の上限(一年次):42単位/年間

※教養科目から10単位以上(必修含む)/専門科目から46単位以上(必修含む)を取得すること。

### 教養科目

科目名	授業形態	卒業要件 単位数	
		必修	選択
文学	T		2
心理学	T		2
経済学(未開講)	T		2
日本国憲法	T		2
生物学(未開講)	T		2
基礎学力演習Ⅰ	T		2
おだたん人間成長講座Ⅰ	T	2	
職業と社会Ⅰ	T		1
職業と社会Ⅱ	T		1
《外国語》			
英語	T	2	
英会話(未開講)	S		1
《体育》			
健康・スポーツ理論	T	1	
健康・スポーツ実技	S	1	
取得単位小計		6	4※1

※1:教養科目、選択から4単位以上取得すること

### 専門科目

科目名	授業形態	卒業要件 単位数	
		必修	選択
子どもの食と栄養Ⅰ	T		1
子どもの食と栄養Ⅱ	S		1
子どもの保健	T		2
子ども家庭支援の心理学	T		2
子どもの健康と安全	S		1
保育原理	T		2
社会的養護Ⅰ	T		2
社会的養護Ⅱ	S		1
社会福祉	T		2
子ども家庭福祉	T		2
子ども家庭支援論	T		2
情報処理論	S		2
卒業研究(ゼミナール)	S		1
音楽表現Ⅰ	S		1
音楽表現Ⅱ	S		1
造形表現Ⅰ	S		1
造形表現Ⅱ	S		1
身体表現Ⅰ	S		1
身体表現Ⅱ	S		1
言語表現	S		1
音楽表現指導法	S		1
造形表現指導法	S		1
身体表現指導法	S		1

科目名	授業形態	卒業要件 単位数	
		必修	選択
健康	T		1
人間関係	T		1
環境	T		1
言葉	T		1
表現(造形)	T		1
表現(音楽)	T		1
保育者論	T	2	
教育原理	T	1	
教育制度論	T	1	
教育社会学	T		1
保育の心理学Ⅰ	T	2	
保育カリキュラム論	T		2
保育内容総論Ⅰ	S		1
環境指導法	S		1
健康指導法	T		2
表現指導法	T		2
言葉指導法	S		1
人間関係指導法	T		2
教育の方法と技術	T		2
幼児理解の理論と方法	S		1
教育相談	T		1
保育・教職実践演習(幼稚園)	S		2
教育実習指導	S		1
教育実習	S		4
乳児保育Ⅰ	T		2
乳児保育Ⅱ	S		1
特別支援教育・保育概論	T		1
障害児保育	S		1
子育て支援	S		1
取得単位小計		6	46※2
取得単位合計		12	50

※2:専門科目、選択から46単位以上取得すること

### 専攻科 科目 ★=専攻科開設科目

児童文学★	T		2
児童文化★	T		2
ボランティア活動★	T		2
保育実習指導Ⅰ★	S		2
保育実習Ⅰ(保育所)★	S		2
保育実習Ⅰ(施設)★	S		2
保育実習Ⅱ★	S		2
保育実習指導Ⅱ★	S		1
保育実習Ⅲ★	S		2
保育実習指導Ⅲ★	S		1

# 科目の概要

## ◆教養科目◆

科目名	授業科目の概要
文学	近現代の日本文学作品を読み深めながら、文学史や作家についての知識を得るとともに、社会人として必要な読解力と文学的感性を養う。毎回、作品を通読した後、作品の内容を段落ごと、あるいは章ごとに分け、スモールステップで分析・検討し、最後に全体を貫くテーマについて考察する。
心理学	人間をより深く理解するために必要な専門的方法や理論を学び、自分自身を含めた人間に対して興味・関心を広げることが目的とし、学んだ知識や方法を実際に日常生活に応用し、その結果充実した人生を送れるようになることを目標とする。
経済学	この教科目では、生活を「経済学」の視点から捉え、生活に必要な経済の基礎について、可能な限り簡単に解説していき、経済ニュースを身近に感じられるように、経済を見る眼を養い、経済ニュースについて、問題発見能力、問題処理能力、事務処理能力を習得する。
日本国憲法	日本国憲法の抛って立つ理念・基本原理、基本的人権の内容について、学ぶ。特に、基本原理相互の関係性や、一つ一つの基本的人権が個人の尊厳性に基づくものであること、各人権が誕生した歴史的背景について、詳しく学ぶとともに、統治機構については、権力分立を中心に学んでいく。
生物学	人間は生物の一員としてこの地球で生活をしている。本授業では、生物の生きるしくみから、地球全体の生物や環境のつながりまでを幅広く学び、生命や環境について考える。特に、身近にみられる生物を観察することに重点を置き、その観察を通して、生き物を見る目を養う。
基礎学力演習Ⅰ	保育者として必要な保育用語について知るとともに、敬語やマナー、礼状の書き方等の教養事項について理解する。また、言葉のレッスンを名文の音読、視写、テーマ作文等の練習を通して、日本語の楽しさや美しさを理解し、正しい日本語を身につけ、大切にしようとする態度を身につける。
おだたん人間成長講座Ⅰ	本学の歴史や校歌を学び、読書、美術館鑑賞、日本の文化や古典芸能鑑賞を行い、地域活動へのかかわりを経験する。これらを通して本学の建学の精神や教育理念を理解し、本学学生としての自覚を高め、自己を見つめ、人としての生き方・学び方を考える。
職業と社会Ⅰ	保育者として社会に出たとき、各々の職場には様々な常識やマナーが存在する。それを一つの職業観として取り上げていく。子どもとかかわる仕事を選んだ学生に、どんな未来が待っているか、ワクワクしながら学んでいきたい。
職業と社会Ⅱ	「職業と社会Ⅰ」で学んだ職業観・就労意欲を基に、社会人として働く未来の自分の姿を描き、職業選択に生かしていく。現場の方々の姿に触れることで、専門性を持って働くことの意義や悩み・やりがい等について理解する。
英語	保育を学ぶ学生用に編集された英語教材『保育の英会話』のテキストとCDを使って、保育現場での日常や行事等で必要とされる英語を学習する。将来保育現場で英語での対応が必要になった時に必要な単語力・基礎的な会話力を養成し、英語の常識や他国の保育事情にも目を向ける。
英会話	初級者を対象に聞く力、話す力をつけるために、ネイティブスピーカーにより、学生のspeakingとlisteningを中心に、実践力を養成する。それとともに他の国のカルチャーを学んで、多文化共生社会に適用できる人材を育成する。教材には、携帯電話、インターネット、ゲーム、ビデオ等多様な機器を活用する。
健康・スポーツ理論	健康は自分の責任のもとに守られるべきものであり、自らの人生目標達成の大きな要素となるものである。本授業では、自己の健康を維持向上させる上で必要な基本的な知識と現代生活における身近な健康問題を取り上げ、健康生活実践の態度を身につけることを目的とする。
健康・スポーツ実技	健康に関する基本的な知識やこれまで体験してきたスポーツ種目のスキルアップを目指す。環境に応じたスポーツ展開の創造へと発展させ、実生活に役立つスポーツ実践を体得すると同時に、生涯スポーツへの方向付けをする。

## ◆専門科目◆

科目名	授業科目の概要
保育原理	保育の意義及び目的について理解する。保育に関する法令に基づく制度について学び、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領に則った保育の基本・目標と方法について理解する。また保育の思想と歴史の変遷を学び、保育の現状と課題について考える。
教育原理	教育の理念、思想、歴史などの検討を通して教育学の基礎的な知識について体系的に学ぶとともに、教育にかかわる今日的な課題についても原理的に考察する。教えることや学ぶことはどのような営みなのか、先人の教育観や子ども観を学び、現代的に考えることができるようにすることを目指す。
教育制度論	教育・保育実践を支える制度について、その構造や原理、社会的意義や必要性などの基礎を学んだのち、現在に至るまでの制度の変化や最近の政策動向を知り、それが教育・保育に与える影響、現在の制度が抱える課題等について検討し、理解を深める。
子ども家庭福祉	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史を知り、現代の制度や実施体系について理解する。子ども家庭福祉の現状について理解を深めながら、子どもの人権擁護についても考察していく。最後に今後の展開について解説し、学生とともに考える。
社会福祉	現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷、社会福祉における子ども家庭福祉の視点を理解する。社会福祉の制度や実施体制を理解し、相談援助について学ぶとともに、利用者の保護に関わる仕組みについて理解を深める。さらに社会福祉の動向と課題を考察する。



科目名	授業科目の概要
子ども家庭支援論	子育て家庭に対する支援の意義と目的、保育の専門性を生かした支援の基本を理解する。子育て家庭に対する支援体制を知る。加えて、支援サービスや地域資源を活用した保育士の活動について学び、子育て家庭のニーズに応じた支援の展開と課題について考察する。
社会的養護Ⅰ	社会的養護の意義について、子どもの人権擁護や保育士等の倫理と責務を踏まえて理解する。歴史の変遷を辿り、今日の社会的養護の制度や実施体系、施設養護や家庭養護の実態を学ぶ。さらに、社会的養護の現状と課題について、施設運営管理や被措置児童等虐待防止、地域福祉との関係を踏まえて考察する。
保育者論	“保育者とは何か”を命題とし、学生一人一人が目指していくべき保育者像を追究していく。また実際に保育現場で保育者が働いている様子から伺える様々な葛藤、それを通しての成長の過程等をエピソードを交えながら講義を進める。
保育の心理学Ⅰ	発達に関する心理学の基礎理論を習得し、生涯発達の視点から人間の発達について理解する。また遊びや学習の過程について学ぶ。これらの学習をとおして、子どもと保育者との社会的相互作用の観点から保育者としての視点や姿勢について考察していく。
子ども家庭支援の心理学	発達における初期体験の重要性、各時期の移行、発達課題等を整理し、そうした発達を支える家族・家庭の機能を理解する。また子どもの精神保健についても基礎知識を習得する。これらの学習をとおして、現代の子育て状況と課題を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を学ぶ。
子どもの保健	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。子どもの身体的な発育・発達と保健、心身の健康状態とその把握方法について理解する。また、子どもの疾病と予防法及び他職機関の連携・協働の下での適切な対応について理解する。
子どもの食と栄養Ⅰ	小児期の食生活は、生涯にわたる健康な生活を送るための基本となる。そのため、保育者自身も、この時期の食事の重要性を十分に理解する必要がある。本科目では、食生活の意義や栄養の基本的知識を学び、子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。
子どもの食と栄養Ⅱ	子どもの食と栄養Ⅰに引き続き、栄養に関する知識（五大栄養素、食生活指針、食事バランスガイドなど）を深める。食品行事や、食育の基本についても理解し、その実態を学ぶ。身近な食に関する諸問題についても学び、普段の自分たちの食生活（行事食など）を振り返り、望ましい食生活とはどうあるべきかを考察する。
保育カリキュラム論	保育における計画及び評価の重要性について理解する。保育の全体的な計画の編成と指導計画の作成について事例を通して、意義と方法を学ぶ。子ども理解に基づく保育の過程について（計画⇒実践⇒省察・評価⇒改善）その構造を捉え、保育内容の充実と質の向上について考える。
保育内容総論Ⅰ	保育の全体構造を理解し「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」と保育内容の関連を学ぶ。子どもの発達や社会状況、保育内容の歴史等を踏まえ、保育内容の基本的な考え方を子どもの発達や実態に即して、多様な保育展開ができるよう具体的な保育の過程につなげて理解する。
人間関係指導法	幼児期の人間関係の発達に関する学びを基に、領域「人間関係」のねらい及び内容への理解を深める。幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法や保育の展開について、演習を通して身につける。
環境指導法	領域「環境」における内容を基本として、子どもが環境とかかわる力を培うことができるようより具体的な指導法とはどういったものかを考える。指導計画を実際に作成し、それを実践する中で子どもへの援助の在り方等を学ぶ。模擬保育を通して実践的に学ぶ。
健康指導法	領域「健康」に示されたねらいを達成することを目的に、幼児の基本的な生活習慣や態度を育成するために必要な基礎的な理論、および実践法について学ぶ。さらに、保育の場における「健康」に関する課題、他の領域との関連性についても理解を深める。
言葉指導法	保育において育みたい幼児の資質・能力について学ぶとともに、領域「言葉」のねらい及び内容についての理解を深める。また、言葉の発達に即して、言葉遊びや児童文化財を適切に活用する技術を体験的に学び、保育を構想する力を身につける。
表現指導法	保育者として子どもの表現力をどのように育て、援助していけばよいかについて学ぶ。子どもと豊かに関わり、育ちを支えるために必要な保育者自身の感性とそれを支える表現技術の獲得を目指す。さらに、保育の場における「表現」に関する課題、他の領域との関連性についても理解を深める。
乳児保育Ⅰ	乳児保育の意義、目的、歴史の変遷、役割などを現状と課題を含めて学ぶ。保育所や乳児院等多様な保育の場を知り、3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容を理解し、その運営体制や職員間の連携、家庭、地域との連携等について学ぶ。
乳児保育Ⅱ	乳児保育Ⅰで学んだ基本的考え方を軸に、3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わり方、配慮の実態を具体的に学ぶ。養護と教育の一体性を踏まえた3歳未満児の生活や遊び、保育方法、環境について、計画の作成や演習を通して具体的に学ぶ。
情報処理論	コンピュータは保育現場では、園のおたより作成、ホームページ運用、保育記録などの電子化、保護者との連絡手段、会計管理など様々な活用をされている。この科目では、IT技術の発展の流れやアプリケーションを構成している要素技術を理解し、保育現場の実務レベルでのコンピュータ・リテラシーの習得を目指す。
子どもの健康と安全	保健的観点に基づく保育の環境整備や援助について理解する。体調不良等に対する適切な対応や関連するガイドラインやデータ等を踏まえ保育における健康および安全管理、感染症対策、保育における保健的対応を具体的に理解する。子どもの健康及び安全管理の実施体制や保健活動の計画及び評価等について理解する。

科目名	授業科目の概要
障害児保育	障害児等の理解と保育における援助、指導計画及び個別の支援計画の作成、生活や遊びの環境、子ども同士の関係性、職員間の連携・協働について学ぶとともに、家庭・関係機関及び小学校等との連携・協働について理解し、保健・医療・福祉・教育の現状と課題を知る。
特別支援教育・保育概論	子どもの発達や権利を保障するために、特別な支援・配慮を必要とする幼児、児童及び生徒(障がい・虐待・社会的マイノリティ)の特性や社会的背景に関する基本的知識、教育課程及び支援施策を学ぶ。さらに共生社会を目指した実践事例についても理解を深める。
社会的養護Ⅱ	施設養護及び家庭養護の実践について具体的に理解する。社会的養護の必要な子どもの特性や現状を踏まえ、日常生活支援、治療的支援、自立支援の視点で事例から実践的に学ぶ。また、家庭支援、アセスメントの方法や個別の支援計画、記録、自己評価など、ソーシャルワークの専門的技術と知識を学ぶ。
子育て支援	保護者に対する子育て支援には、相談、助言、情報提供などがあり、援助技術は、家族の現状把握、支援計画、支援の実践や記録、評価、カンファレンス、職員間連携や協働、社会資源の活用など、多岐にわたる。保育士が専門的に実施する相談援助の方法と技術について、具体的な場面を想定して実践的に学ぶ。
音楽表現Ⅰ	保育内容を理解し、子どもの音楽の表現遊びを豊かに展開するために必要な基本的知識と技術を、また身近な自然等の音や人の声、音楽に親しむ経験を通して保育環境の構成を、さらに、子どもの日常生活や遊びと音楽活動とを関連づける遊びの展開を習得する。(音楽基礎理論・声楽・鍵盤楽器の技術・簡易打楽器など)
造形表現Ⅰ	子どもの保育内容を理解し、造形遊びを豊かに展開するために必要な基本知識と技術を習得する。また、身近な自然やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ経験をする中で、様々な用具、素材や教材に触れ、保育環境の構成や表現活動に関する保育技術を習得する。
身体表現Ⅰ	子どもの身体運動に関する基礎的な知識を理解するとともに、保育者としての運動技能や身体表現力を高めることを目指す。模擬保育などの実践を通して遊びを豊かに展開するために必要な技術を習得できるようにする。さらに、幼児が興味・関心を示し、安全で積極的に身体表現活動に関われるような実践法について学ぶ。
言語表現	素話や絵本、紙芝居、ペープサート、パネルシアター、言葉遊びなど、子どもの言語発達に関わる児童文化財の特徴や正しい扱い方を学ぶ。また、集団を前にしての実技と相互批評を通して、保育現場で子どもの言語活動を豊かに展開する実践力を身につけるようにする。
保育・教職実践演習(幼稚園)	これまでの学校における保育者養成の学習内容を学生一人一人、履修カルテを用いて今一度整理する。保育実践における具体的な事例の検討および保育現場の実情に触れながら保育を実践する指導力の育成を目指す。模擬保育を通して実践的に学ぶ。
教育社会学	教育と社会のあり方について、教育改革の動向、多様化・複雑化する教育の今日的課題への対応の仕方、学力格差、学校外での学びなどに焦点をあてて検討する。これらを通じて、学校を巡る様々な教育的課題に対する指導のあり方、社会変動と教育に関する知見を深める。
幼児理解の理論と方法	子どもの生活や遊びの中からその発達や学びについての理解を深めるため、そして集団の中での一人ひとりの子ども理解を深めるための、記録や観察方法、子どもの行為の裏にある「思い」に気づき、寄り添うまなざしとそれに基づく援助について学び、保育者の役割について考える。
教育相談	保護者の相談を受けること、保護者と連携しながら子どもの発達を支援することが保育者の重要な役割となっていることを学ぶ。保護者と信頼関係を築くため、また関係機関と連携するために必要な態度や知識、カウンセリングマインドに基づくかわりについて理解を深める。
音楽表現Ⅱ	保育内容を理解し、子どもの音楽の表現遊びを豊かに展開するために必要な基本的知識と技術を、また身近な自然等の音や人の声、音楽に親しむ経験を通して保育環境の構成を、さらに、子どもの日常生活や遊びと音楽活動とを関連づける遊びの展開を習得する。(コード伴奏法・子どもの歌・遊び・簡易打楽器の技術など)
音楽表現指導法	音楽表現Ⅰおよび音楽表現Ⅱの教授内容を基礎に、子どもの音楽表現活動を豊かに展開するために必要な基礎知識と技術を、また身近な自然やものの音、人の声や音楽を親しむ経験を通して保育環境の構成を、さらに音楽遊び計画案の立案や実践を通して子どもの日常生活や遊びと音楽活動とを関連づける遊びの展開を習得する。
身体表現Ⅱ	身体表現Ⅰの学習をもとに、子どもの運動遊びやリズム・表現遊び等について実践的な指導力を身につける。また、保育者として自らの運動技能を高めるために必要な運動技術の正しい理解と身体操作能力の向上を目指す。
身体表現指導法	身体表現Ⅰおよび身体表現Ⅱの教授内容を基礎として指導案の作成から実際の指導、教材研究の在り方などについて学ぶ。学生個々が課題を持ち寄り、指導案をもとに模擬保育を実践、終了後は自己評価を行うことによって確実な指導力を身につける。
造形表現Ⅱ	造形表現Ⅰを基に、保育者として必要な造形表現に係る教材等の活用及び作成法を習得する。また、子どもの経験や様々な表現活動と造形活動とを結びつける遊びの展開や、イメージや感性を養う環境構成及び具体的展開のための保育技術を習得する。
造形表現指導法	造形表現Ⅰおよび造形表現Ⅱの教授内容を基礎として指導案の作成から実際の指導、教材研究の在り方などについて学ぶ。学生個々が課題を持ち寄り、指導案をもとに模擬保育を実践、終了後は自己評価を行うことによって確実な指導力を身につける。
教育の方法と技術	子どもの学びを支える教育方法や教育技術、教育目標や教授方法などについて理解する。また、教師を目指す学生自身のICT活用能力を高め、学校現場におけるツールを効果的に活用した教育計画、実施、教材の開発、授業評価に関わる知識と技術を習得し、実践的な指導力を育成する。
教育実習	教育実習は2年次6月4週間を原則として同一の幼稚園で実習する。実習最初の1週では、観察実習を通じて幼稚園における子どもの姿や教師の役割について理解し、2週目以降の参加・指導実習に備える。3週目には部分実習、4週目には責任実習を行う。

科目名	授業科目の概要
教育実習指導	実習の意義・目的・内容の理解を中心に、実習の準備とその省察を行う。事前学習では、子ども・保育者・幼稚園の役割に関する理解を意識化するとともに自己の課題を明確化する。事後学習では、実習体験を振り返り、自己の実習課題の達成と成果について省察し、更なる実践力の獲得につなげる。
人間関係	領域「人間関係」の指導の基盤となる、幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的事項についての知識を身につける。幼児を取り巻く人間関係の現代的課題を理解するとともに、園生活における関係の体験について演習を通して学び、幼児期の人間関係の発達を理解する。
環境	5領域の1つ「環境」について学ぶ。保育所や幼稚園、認定こども園等における環境とは何かを考える。環境とかわる力を子どもに培うためには自身が保育者として行うべき保育を迫る。しつこくは日頃の生活から保育者として環境をどう捉えていくべきなのかを再考できる授業としたい。
健康	領域「健康」の指導に関する幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの事項について、知識や情報、事例等を通して理解を深めることにより、専門的な知識を身につける。
言葉	言葉の意義や機能、言葉遊び、児童文化財等についての学習を通して、領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児の言葉を育てるために必要な専門的知識を身につける。また、児童文化財の活用を体験し、言葉についての事例研究を検討することにより、言葉についての考察を深める。
表現（音楽）	幼児の音楽的遊びや生活と領域「表現」の関連性、幼児の音楽的発達を理解する。様々な音楽的表現活動を通して音楽の楽しさを味わうと共にその楽しさの要因を音楽的知識から探る。また音楽表現活動を通して他者の表現への共感や表現を豊かにしていく過程を学び、幼児の音楽表現活動計画を立案し実践する。
表現（造形）	造形での遊びは、頭や体全体を使って表現することで、知識や心を獲得していきます。子どもたちの発想や創造的思考を理解するためには、それに同調できるアンテナを持っていなければなりません。自分の感性を高め、柔軟な思考を保っていくことが重要です。授業では、子どもたちの表現を受け止め理解していく柔軟な感性を学びます。

## ◆専攻科で開講する科目◆

科目名	授業科目の概要
ボランティア活動	地域社会において福祉・教育・保育などの領域に関わる場におけるボランティア活動に参加することを通して、多様な生き方を理解するとともに、社会貢献の意義を実感する。また、人とのかわりを通じてコミュニケーション能力、社会性を習得し、実践による知識技術の確認をする。
児童文化	子ども特有の遊びや文化財を人間の文化全体の中で概観し、子どもの生活や人間関係に潤いを与える児童文化財の価値を考察する。子どもの遊びを豊かにする児童文化財（絵本、人形劇等）を活用する際の基礎的な知識と技術を身につける。
児童文学	日本児童文学の代表作を読み深めながら、児童文学の歴史や特質、作家についての知識を得るとともに、保育者として必要な読解力と文学的感性を養う。毎回、作品を通読した後、作品の主題について分析・検討し、大人たちが見失いがちな子どもの純粋な世界について、保育の視点から考察する。
保育実習Ⅰ（保育所）	既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。保育所の役割や機能を理解するとともに、観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。保育の計画・観察・記録及び自己評価、保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。
保育実習Ⅰ（施設）	児童福祉施設等における子ども・利用者の生活と援助方法、施設の役割と機能を具体的に学ぶ。観察、実践を記録し、支援方法や支援計画を省察し、子ども理解を深めるとともに自身の自己評価を行う。実習を通して、専門職としての保育士の役割と職業倫理を学ぶ。
保育実習指導Ⅰ	保育実習の意義・目的、実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。また、保育所及び児童福祉施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務、実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容を学ぶ。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、課題や目標を明確にする。
保育実習Ⅱ	既習教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、保育所の役割や機能、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する。観察や関わりからの視点を明確にし、保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。保育士の業務内容や職業倫理を理解し、実習における自己の課題を明確化する。
保育実習指導Ⅱ	保育実習の意義と目的を理解し、実習や既習の教科目の内容等を踏まえ、保育の実践力を習得する。保育士の専門性と職業倫理について理解するとともに、保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について学ぶ。実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。
保育実習Ⅲ	児童福祉施設（保育所以外）の役割や機能について、既習の教科目や保育実習の経験を踏まえて理解を深める。子どもや保護者の支援に関する知識、技術を養い、施設における支援の実践を社会的養護の原理と関連付けて学習する。児童福祉施設の業務の現状と課題を学ぶとともに、自己課題を明確にする。
保育実習指導Ⅲ	児童福祉施設（保育所以外）における保育実習の意義と目的を総合的に学ぶ。既習の教科目の内容や関連性を踏まえ、保育の実践力を修得する。子ども・利用者に対する知識・技術を活かした保育実践を学び、適切な観察、記録、自己評価、保育士の専門性と職業倫理について理解する。実習事後指導により各自の課題を明確にする。

# 教員免許・資格読替表

## ◆教育職員免許法施行規則に定める科目と本学開講科目読替表 ≪幼稚園教諭二種免許状≫

【教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目】

T = テキスト履修 S = スクーリング履修 ★ = 必修

定 施 行 規 則 目 六 十 六 条 の 六 に	免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目		単位数	
	科目	単位数	授業科目	T	S	
	日本国憲法	2	★日本国憲法	2		
	体育	2	★健康・スポーツ理論	1		
			★健康・スポーツ実技			1
	外国語コミュニケーション	2	★英語	2		
	情報機器の操作	2	英会話			1
			★情報処理論			2
				必修：8単位	選択：1単位	5 4

【幼二種免・領域及び保育内容の指導法に関する科目】

指 導 法 及 び 保 育 内 容 的 科 目	免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目		単位数	
	科目	単位数		T	S	
領 域 に 関 する 専 門 的 事 項	言葉	6	★言葉	1		
			★表現（音楽）	1		
			★表現（造形）	1		
			★人間関係	1		
			★環境	1		
保 育 内 容 の 指 導 法 （ 情 報 機 器 及 び 教 材 の 活 用 を 含 む 。 ）			★保育内容総論Ⅰ			1
			★環境指導法			1
			★健康指導法	2		
			★言葉指導法			1
			★表現指導法	2		
			★人間関係指導法	2		
				必修：15単位	選択：0単位	12 3

【幼二種免・教育の基礎的理解に関する科目】

関 係 する 科 目	免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目		単位数		
	科目	単位数		T	S		
関 係 する 科 目 基 礎 理 解 に	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	2	★保育者論	2			
			6	★教育原理	1		
				★教育制度論	1		
				★教育社会学 ※2	1		
				★保育の心理学Ⅰ	2		
★特別支援教育・保育概論	1						
に 指 導 法 及 び 保 育 内 容 的 科 目	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	4	★保育カリキュラム論	2			
			★教育の方法と技術	2			
			★教育相談	1			
関 係 する 科 目 実 践 に	教育実践演習	2	★幼児理解の理論と方法			1	
			5	★保育・教職実践演習 (幼稚園)	2		
				★教育実習 ※1			4
				★教育実習 ※1			3
	★教育実習 ※1			2			
	★教育実習 ※1			1			
	★教育実習指導			1			
				必修：20単位	選択：7単位	13 14	

【幼二種免・大学が独自に設定する科目】

関 係 する 科 目	免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目		単位数	
	科目	単位数		T	S	
大 学 が 独 自 に 設 定 する 科 目	2	2	★保育原理	2		
			子ども家庭支援の心理学 ※2	2		
			子ども家庭支援論 ※2	2		
				必修：2単位	選択：4単位	6 0

※1については、教育実習特例の対象となる学生に適用する。また教育実習の単位は必修4単位であるが、※1の単位と※2の単位を加えて総単位4単位とすることができる。

◆児童福祉法施行規則に定める科目と本学開講科目読替表  
 ≪保育士資格≫

T=テキスト履修 S=スクーリング履修 ★=必修

告示による教科目			左記に対応する本学の科目名・単位数		
系列	教科目	単位数	本学開講科目	単位数	
				T	S
教養科目	外国語、 体育以外の科目	6以上	文学	2	
			心理学	2	
			経済学	2	
			日本国憲法	2	
			生物学	2	
			基礎学力演習Ⅰ	2	
			★おだたん人間成長講座Ⅰ	2	
			職業と社会Ⅰ	1	
			職業と社会Ⅱ	1	
			情報処理論		2
	外国語	2以上	★英語	2	
			英会話		1
	体育	1	★健康・スポーツ理論	1	
		★健康・スポーツ実技		1	
合計		10以上	10単位以上(必修6単位含む)	19	4

正科生

告示別表第1による教科目			左記に対応する本学の科目名・単位数		
系列	教科目	単位数	本学開講科目	単位数	
				T	S
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	★保育原理	2	
	教育原理	2	★教育原理	1	
			★教育制度論	1	
	子ども家庭福祉	2	★子ども家庭福祉	2	
	社会福祉	2	★社会福祉	2	
	子ども家庭支援論	2	★子ども家庭支援論	2	
	社会的養護Ⅰ	2	★社会的養護Ⅰ	2	
保育者論	2	★保育者論	2		
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	★保育の心理学Ⅰ	2	
	子どもの理解と援助	1	★幼児理解の理論と方法		1
	子ども家庭支援の心理学	2	★子ども家庭支援の心理学	2	
	子どもの保健	2	★子どもの保健	2	
			★子どもの食と栄養Ⅰ	1	
		★子どもの食と栄養Ⅱ		1	
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	★保育カリキュラム論	2	
	保育内容総論	1	★保育内容総論Ⅰ		1
	保育内容演習	5	★人間関係指導法	2	
			★環境指導法		1
			★健康指導法	2	
			★言葉指導法		1
			★表現指導法	2	
	乳児保育Ⅰ	2	★乳児保育Ⅰ	2	
	乳児保育Ⅱ	1	★乳児保育Ⅱ		1
	障害児保育	2	★特別支援教育・保育概論	1	
			★障害児保育		1
	保育内容の理解と方法	4	★身体表現Ⅰ		1
			★言語表現		1
★音楽表現Ⅰ				1	
★造形表現Ⅰ				1	
子どもの健康と安全	1	★子どもの健康と安全		1	
社会的養護Ⅱ	1	★社会的養護Ⅱ		1	
子育て支援	1	★子育て支援		1	
保育実習	保育実習指導Ⅰ	2	★保育実習指導Ⅰ		2
	保育実習Ⅰ	4	★保育実習Ⅰ(保育所)		2
★保育実習Ⅰ(施設)				2	
総合演習	保育実践演習	2	★保育・教職実践演習(幼稚園)		2
合計		51単位	必修54単位	32	22

T=テキスト履修 S=スクーリング履修 ★=必修

告示別表第2による教科目「選択必修科目」			左記に対応する本学の科目名・単位数		
系列	教科目	単位数	本学開講科目	単位数	
				T	S
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	18単位以上開設 9単位以上(うち 保育実習Ⅱ・保育 実習指導Ⅱまたは 保育実習Ⅲ・保育 実習指導Ⅲを3単位 以上)取得	教育社会学	1	
保育の対象の理解に関する科目			教育相談	1	
保育の内容・方法に関する科目			ボランティア活動	2	
			身体表現指導法		1
			造形表現指導法		1
			音楽表現指導法		1
			★音楽表現Ⅱ		1
			★造形表現Ⅱ		1
			★身体表現Ⅱ		1
			児童文化	2	
児童文学			2		
教育の方法と技術			2		
保育実習 ★①または★②の いずれかを選択			保育実習Ⅱ	いずれか必修	★① [ 保育実習Ⅱ
	保育実習指導Ⅱ	保育実習指導Ⅱ			1
	保育実習Ⅲ	保育実習Ⅲ			2
	保育実習指導Ⅲ	保育実習指導Ⅲ			1
			9単位以上(必修6単位含む)	10	12

《社会福祉主事任用資格》

T=テキスト履修 S=スクーリング履修

区分	要件	本学開講科目	単位数	
			T	S
社会福祉概論	3科目以上	社会福祉	2	
児童福祉論		子ども家庭福祉	2	
保育理論		保育原理	2	
経済学		経済学	2	
心理学		心理学	2	
教育学		教育原理	1	

※社会福祉主事任用資格は「社会福祉法」に定められた任用資格  
 ※厚生労働大臣の指定する科目のうち、3科目以上を充たすことで、卒業時に取得が可能

# 各種実習について

## 1. 教育実習（幼稚園教諭二種）

### 《目的》

教育実習は、将来教職につく方のために教育職員免許法施行規則第6条に基づき、学校教育の場において大学で学んだ理論や知識を活かすとともに、教育の現場に学びながら、実践的な知識・技能・態度等の基礎を修得するためのものです。

### 《教育実習受講資格》

教育実習の実施にあたっては、本学では以下の事項を教育実習の受講資格としています。

- (1) 本学で定める教育実習に必要な単位数を教育実習開始までに修得済みである。  
なお、本学の定める実習中止基準に抵触した場合は、実習に行けなくなることがあります。  
(詳細は、入学後にご確認ください。)
- (2) 必要な予防接種を期日までに受けている。
- (3) 妊娠していない。
- (4) 学外での実習に可能な心身の健康上の条件を満たしている。
- (5) 学則及び規程の違反がない。
- (6) 指定科目〈必修〉において、授業（スクーリング）への遅刻が3回以上、または無断欠席が2回以上の科目がない。
- (7) その他、実習に参加するにふさわしくない事由がない。

### 《単位数および実施方法》

教育実習は、「教育実習指導」1単位と、実習園で行う「教育実習」4単位をもって、5単位とし実習園の教職員の指示に従って勤務します。必要な単位数や実習日数は次の通りです。

取得希望免許状	必要単位数	内容	実習期間
幼稚園教諭二種	5単位	「教育実習指導」1単位 「教育実習」4単位	約4週間(20日間)

### 《実習時期》

実習実施に必要な科目単位を履修、修得したうえで、原則として2年次6月～12月に実施します。

### 《実習園の確保》

受入園には実習受け入れの義務は一切ありません。したがって、原則として実習園の確保は学生自身が責任をもって開拓（自己開拓）することになります。一般的に、教育委員会、最寄りの園などと交渉し、確保することを原則とします。ただし、一部の地域での公立園では特別な申請手続きが必要となり、個人で実習園の確保ができない場合もありますので、早い時期に実習希望地域の教育委員会、実習希望園（原則、母園以外）の条件等を把握しておいてください。

## 2. 保育実習(保育士資格) ※専攻科のみでの開講科目

### 《目的》

保育の現場及び保育業務を体験し、保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解するとともに、保育士として必要な資質・能力・技術の習得を目指すためのものです。

### 《実施資格》

保育実習の実施にあたっては、本学では以下の事項を保育実習基準としています。

- (1) 本学で定める保育実習に必要な単位数を保育実習開始までに修得済みである。  
(詳細は、入学後にご確認ください)
- (2) 定められた期日までに細菌検査を受けている。
- (3) 必要な予防接種を期日までに受けている。
- (4) 妊娠していない。
- (5) 学外での実習に可能な心身の健康上の条件を満たしている。
- (6) 学則及び規程の違反がない。
- (7) 指定科目(必修)において、授業(スクーリング)への遅刻が3回以上、または無断欠席が2回以上の科目がない。
- (8) その他、実習に参加するにふさわしくない事由がない。

### 《実習種別と単位数および実習施設》

	実習種別	実習日数	単位数		実習施設
必修	保育実習Ⅰ(保育所)	それぞれ10日間以上 かつ90時間以上	2	5	(A)
	保育実習Ⅰ(施設)		2		(B)
	保育実習指導Ⅰ	—	1		
いずれか 必修	保育実習Ⅱ	10日間以上 かつ90時間以上	2	3	(A)
	保育実習指導Ⅱ		1		
	保育実習Ⅲ	10日間以上 かつ90時間以上	2	3	(B)
	保育実習指導Ⅲ		1		

(A)…保育所※

(B)…乳児院、母子生活支援施設、障害児入所施設、児童発達支援センター(児童発達支援及び医療型児童発達支援を行うものに限る)、障害者支援施設、指定障害福祉サービス事業所(生活介護、自立訓練、就労移行支援または、就労継続支援を行うものに限る)、児童養護施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、児童相談所一時保護施設又は独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

※保育所 認可保育所または保育所型認定こども園

### 《実習時期》

実習実施に必要な科目単位を履修、修得したうえで、原則として専攻科6月～12月に実施します。

### 《実習施設の確保》

受入施設には実習受け入れの義務は一切ありません。したがって、原則として実習施設の確保は学生自身が責任をもって開拓(自己開拓)することになります。一般的に、地域の自治体担当部署、出身園、最寄りの施設、縁故のある施設などと交渉し、確保することを原則とします。

ただし、一部の地域での公立施設では特別な申請手続きが必要となり、個人で実習施設の確保ができない場合もありますので、早い時期に実習を希望する自治体の担当部署、実習希望施設の条件等を把握しておいてください。

### 保育実習Ⅲの履修について

上記科目の履修は、専攻科終了後、保育士資格を有して、施設で勤務されることを希望する方を対象に開講します。あらかじめご了承ください。



# Q&A よくある質問

## 出願について

Q 入学には年齢制限はありますか？

A 年齢制限はありません。入学資格を満たす方ならどなたでも受験可能です。

Q 高校を卒業して、現在専門学校に通っていますが出願できますか？

A 専門学校（専修学校等）は二重学籍の扱いをしていませんので、合格すれば入学が許可されます。ただし、学業に支障がないかどうかはご自身でご判断ください。

Q 高校を卒業して、現在大学（短期大学）に通っていますが出願できますか？

A できません。他の大学に在学したまま本学に籍をおくことは、二重学籍となるため入学できません。卒業してから出願してください。

Q 保育学科通信教育課程には、男性も入学できますか？

A 本学の通信教育課程は共学となりますので、男性も出願可能です。通学課程は、女性のみ出願可能です。

Q 外国の学校を卒業しましたが、出願はできますか？

A 日本国籍を持ち、入学資格を満たしていれば出願可能です。入学資格については、「募集について 2. 入学資格 (P7)」をご覧ください。  
なお、日本国籍以外の方におかれましては、本学で定めた入学資格の他に在学期間において長期滞在できるビザが必要となります。

## 通信教育について

Q 遠方ですが、通信教育を受けることができますか？

A 可能です。  
スクーリングは対面型と遠隔型があります。このため、対面型スクーリングの開講時は各スクーリング会場で受講する必要がありますが、テキスト科目など自宅で自分のペースで学習する時間も多々ありますので、遠方でも受講可能です。

Q 通信教育が初めてなので、勉強の進め方や試験などが心配です。

A 学習内容については、科目担当教員に直接質問ができるオフィスパワーや、学習支援システム (CoLS) で学習が進めやすいようサポートします。また、その他の履修、資格取得、実習、学生生活などについてもキャンパスアドバイザーが全面的にサポートしますので、ご安心ください。

Q 出願期間が長いですが、出願が早いか遅いかによって学習開始に影響がありますか？

A 出願時期により、入学手続きの時期が変わる為、学生証等がお手元に届く日程に影響はありますが、通信教育は自宅で自分のペースで学習を進めていくものなので、学習に影響が出ることはありません。スクーリング科目についても、原則初年次4月中の開講はありませんのでご安心ください。

## スクーリングについて

---

Q スクーリングの受講料・必要経費はどのくらいかかりますか？

A 本学では、スクーリング受講料・科目修得試験料はすべて学費に含まれています。  
詳しくは、「学費（P12）」をご確認ください。

Q 都合が悪くて出席できないときは、対面型スクーリングを休んでもよいのでしょうか？

A スクーリングは、定められた日数・時間すべてに出席しなくてはなりませんので、欠席および遅刻・早退をした場合、原則として不合格となります。開講スケジュールを確認し、年度内に同じ科目の開講があればその科目を、開講がなければ次年度に履修登録をしてください。

Q 1年目で出席できなかったスクーリングがあった場合はどうすればいいですか？

A スクーリングのスケジュールを確認したうえで、次年度に履修登録してください。  
複数の日程をご用意していますが、1回の日程に開講される科目は限られていますので、綿密に履修計画を立てることが必要になります。履修計画において不明な点などがある時は、キャンパスアドバイザーまでご相談ください。

Q 小田原短期大学（本校）でのスクーリング期間中、宿舎はどうすれば良いのでしょうか？

A 本学から1時間圏内の立地にある、指定学生会館（学生寮）の短期利用もしくは近隣ホテルをご利用ください。

Q スクーリング等の登校が必要な際に子どもを預かってくれる施設等がありますか？

A ご用意しておりませんので、各自で手配いただけますようお願いいたします。

Q 対面型スクーリングは年間何日ぐらい出席する必要がありますか？

A 最少年数での免許・資格の取得をご希望の場合、2年間または3年間で合計20日間程度（実習除く）の対面型スクーリングに出席する必要があります。

Q 対面型のスクーリング会場はどこで実施しますか？

A スクーリング会場は、小田原短期大学（本校）または延岡スクール・登米スクール・千歳スクールにて実施いたします。  
出願時に選択し、原則入学後のスクーリング会場の変更はできません。

## 実習について

---

Q 実習に際して定期券を購入することはできますか？

A 可能です（利用する路線等によって、発行不可の場合もあります）。  
所定の書式にて申請してください。

◆実習についての詳細は入学後にご案内いたします。

◆ここに掲載されていない質問やご不明な点がございましたら、本学 通信教育部までお問い合わせください。

## 履修、試験について

Q 卒業に必要な単位数を教えてください。

A 卒業要件は62単位以上となります。このうち、15単位以上はスクーリング履修である必要があります。また、1年間の履修登録上限は42単位までとなっています。  
卒業必修科目については、「開講科目一覧 (P13)」をご確認ください。

Q 以前に卒業した大学で教養科目を取得しましたが、単位として認められますか。

A 30単位を上限として、本学の単位として認める場合があります。出願時、取得した単位がわかる書類の提出等、確認手続きが必要となりますので、該当する場合は「既修得単位・資格等による単位認定 (P10~11)」をご確認ください。

Q 資格・免許は持っていませんが、保育現場で勤務した経験があります。免除される科目はありますか？

A 勤務経験により免除される科目はありません。

Q どこで科目修得試験を受験できますか？

A ご自身のパソコンにて受験します。インターネット環境（有線）を整えてください。

## 学費のサポート

通信教育課程の学生には、以下のようなサポートがあります。

### 1. 奨学金制度

通信教育課程の学生も、独立行政法人日本学生支援機構からの奨学金が貸与されます。これは、教育基本法ならびに学校教育法の趣旨にしたがい、大学通信教育を受けている学生のうち、特に優秀でありかつ経済的理由からスクーリング受講の困難な学生に対して、独立行政法人日本学生支援機構奨学規定により貸与されるものです。  
貸与額と貸与期間、申込方法など詳細については、入学後に資料を配布いたします。

### 2. 勤労学生の所得控除(正科生のみ)

働きながら学ぶ学生（正科生のみ）には、所得税に対する勤労学生控除が適用されます。  
控除の具体的な内容については、勤務先の給与担当者または最寄りの税務署にお尋ねください。

### 3. 学生運賃割引証

遠隔地在住の学生が、スクーリング・卒業研究等の学校行事に出席するためにJR線を利用する時、現住地の最寄駅から目的地までの片道乗車区間（営業キロ）が101km以上の場合に学割乗車券（運賃の2割引）を購入することができます。

# 出願書類確認表

全ての書類を出願用封筒に入れて、ご提出ください。

出願用封筒：市販の角2封筒（A4サイズの書類が入る封筒）

Post@net から「封筒貼付用宛名シート」をダウンロード、印刷し、封筒に貼付の上、本学まで郵送ください。

確認欄	出願書類	備考	
	1 入学志願書①	カラー写真（縦4cm×横3cm、3ヶ月以内に撮影した証明写真）貼付	
	2 入学志願書②	ペンまたは消えないボールペンにて記入	
	3 誓約書・保証書・同意書	事前ダウンロードページから印刷して記入	
	4 健康診断書	出願前6ヶ月以内に発行されたもの	
	5 学生証作成台紙	カラー写真（縦4cm×横3cm）貼付	
	6 入学資格を証明する書類	最終学校の卒業（見込）証明書	
	<その他(入学関係書類)>	・高等学校卒業程度認定試験合格者	高等学校卒業程度認定試験合格証
		・外国の学校を卒業された方（いずれかの書類を提出）※1	最終学校の卒業（見込）証明書
			調査書（最終卒業学校作成、厳封のこと）
		・外国籍の方	国際バカロレア資格証書
	特別永住者証明書または在留カードの写し		
		日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書 ※2	

1 は『Post@net』、2・3・5 は『通信教育課程ホームページ』よりダウンロードできます。

詳細につきましては、通信教育課程ホームページ『インターネット出願ガイド』をご参照ください。

- ・証明書類はすべて出願前6ヶ月以内のものを提出してください。いずれもコピー不可とします。
- ・卒業見込の場合は、卒業証明書の代わりに「卒業見込証明書」をご提出ください。また、卒業が確定し次第、早急に卒業証明書をご提出ください。提出期限は4月末日となります。期日までに提出がない場合は、入学許可を取り消しますのでご注意ください。

※1 日本語あるいは英語以外の証明書を提出する場合は、証明書の翻訳文を添付してください。

※2 該当の方のみ

# 科目等履修生(特例)概要

## ◆科目等履修生(特例)

基礎資格のある方が、幼稚園教諭免許状(二種)・保育士資格を取得するために必要な科目だけを履修することを目的とした制度です。

## ◆認定こども園法改正に伴う幼稚園教諭免許状及び保育士資格の取得の特例について

### \* TOPICS \*

<2024年度末まで!>期間限定の特例制度です!

- ★幼稚園教諭免許状を持っているけど、保育士資格は持っていない…
- ★保育士資格を持っているけど、幼稚園教諭免許状は持っていない…

2015年度から施行の「幼保連携型認定こども園制度」への円滑な移行・促進のため、幼稚園教諭免許状と保育士資格の取得要件の特例が設けられています。

また「教育職員免許法施行規則」の一部改正により、2023年4月1日施行に「新特例」「幼保2年特例」が設けられることになりました。

**最短半年程度・8単位(6単位)の学習で取得可能!!**

科目等履修生(特例)

## ★保育士資格所有者が「幼稚園教諭免許状」を取得する場合

### 幼稚園教諭免許状取得コース

基礎資格	
幼稚園教諭二種免許状：高等学校卒業以上で、保育士資格を有する方	
実務経験	
現行特例(特例※)	・認定こども園、保育所等で保育士として「3年かつ4,320時間以上の実務経験がある」 または2025年3月31日の申請までに実務経験を積める見込みがある方
新特例	・認定こども園、保育所等で保育士として「3年かつ4,320時間以上の実務経験がある」 または2025年3月31日の申請までに実務経験を積める見込みがある方 <b>あわせて</b> ・幼保認定こども園での保育士教諭として「2年かつ2,880時間以上の実務経験がある」 または2025年3月31日の申請までに実務経験を積める見込みがある方

### 現行特例 ※

～必要な単位数～

《大学での単位修得 8単位》

- 保育者論 → 2単位
- 教育制度論・日本国憲法 → 2単位
- 保育課程論 → 1単位
- 保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術 → 2単位
- 幼児理解の理論と方法 → 1単位

**5科目8単位**  
すべてテキスト科目開講のため  
**通学日数0日!**

※開講科目一覧 P32

### 新特例(2023年4月より開講)

～必要な単位数～

《大学での単位修得 6単位》

- 保育者論 → 2単位
- 教育制度論・日本国憲法 → 2単位
- 保育課程論 → 1単位
- 保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術 → 1単位

**4科目6単位**  
すべてテキスト科目開講のため  
**通学日数0日!**

※開講科目一覧 P32

※募集コース名は、「特例」としています。

★幼稚園教諭免許状所持者が「保育士資格」を取得する場合

## 保育士資格取得コース

基礎資格	
幼稚園教諭免許状を有する方	
実務経験	
3年特例 (特例※)	・幼稚園、認定こども園、保育所等での幼稚園教諭として「3年かつ4,320時間以上の実務経験がある」または2025年3月31日の申請までに実務経験を積める見込みがある方
幼保2年特例 (新特例※)	・幼稚園、認定こども園、保育所等での幼稚園教諭として「3年かつ4,320時間以上の実務経験がある」または2025年3月31日の申請までに実務経験を積める見込みがある方 <b>あわせて</b> ・幼保連携型認定こども園での保育士教諭として「2年かつ2,880時間以上の実務経験がある」または2025年3月31日の申請までに実務経験を積める見込みがある方

### 3年特例 ※

～必要な単位数～

≪大学での単位修得 8単位≫

- 福祉と養護 → 2単位
- 子ども家庭支援論 → 2単位
- 保健と食と栄養 → 2単位
- 乳児保育 → 2単位

**4科目 8単位**

- ・テキスト科目 7単位
  - ・オンデマンドスクーリング科目 1単位
- オンデマンドスクーリングは遠隔のため  
**通学日数 0日!**

※開講科目一覧 P32

### 幼保2年特例 ※

～必要な単位数～

≪大学での単位修得 6単位≫

- 福祉と養護 → 2単位
- 子ども家庭支援論 → 1単位
- 保健と食と栄養 → 2単位
- 乳児保育 → 1単位

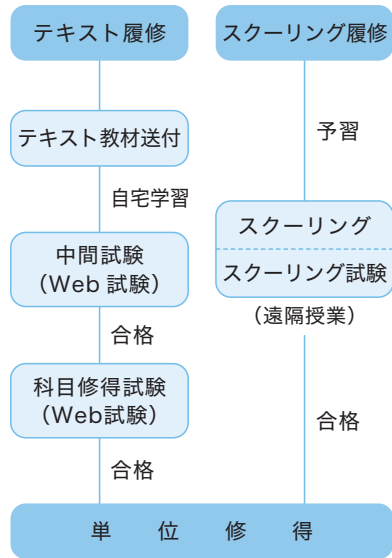
**4科目 6単位**

- ・テキスト科目 5単位
  - ・オンデマンドスクーリング科目 1単位
- オンデマンドスクーリングは遠隔のため  
**通学日数 0日!**

※開講科目一覧 P32

※募集コース名は、3年特例は「特例」、幼保2年特例は「新特例」としています。

## 学習の流れ



2023年度日程表(予定) ※日程が変更となる場合には、ホームページでお知らせいたします。

### ■スクーリング日程

4月生	夏期 7月	冬期 2月
10月生	冬期 2月	夏期 7月

※スクーリング開講期間(動画視聴・課題提出)は、24時間いつでも受講が可能です。  
※夏期・冬期のうち、どちらかの参加が必要です。

### ■中間試験 受験締切日程

4月生	6月	8月	11月	1月
10月生	11月	1月	6月	8月

※自宅にてWeb試験を受験。

### ■科目修得試験 日程

4月生	6月	8月	12月	1月
10月生	12月	1月	6月	8月

※自宅にてWeb試験を受験。

※受験期間は、いずれも週末3日間(金~日)、24時間受験が可能です。

科目等履修生  
(特例)

## 募集について

### 1. 募集コース

コース		定員(男女)
幼稚園教諭免許状取得コース	特例 (全5科目8単位)	80名
	新特例 (全4科目6単位)	
	一部科目	
保育士資格取得コース	特例 (全4科目8単位)	40名
	新特例 (全4科目6単位)	
	一部科目	

入学期	受講期間
4月生	2023年4月1日~2024年3月31日
10月生	2023年10月1日~2024年9月30日

・入学時期は4月と10月です。

## 2. 登録資格

認定こども園法改正に伴う特例措置を適用して免許状・資格を取得する場合、以下の基礎資格および実務経験が必要です。

基礎資格	
幼稚園教諭免許状取得コース	二種免許状：高等学校卒業以上で、保育士資格を有する方
保育士資格取得コース	幼稚園教諭免許状を有する方
実務経験	
1. 以下の学校または施設における勤務経験があること。	
保育士 実務経験対象施設	
(1) 幼稚園において、専ら幼児の保育に従事する職員 (2) 幼保連携型認定こども園において園児の教育及び保育に従事する職員 (3) 次の施設の保育士 (a) 児童福祉法第39条第1項に規定する保育所 (b) 児童福祉法第59条第1項に規定する施設のうち同法第39条第1項に規定する業務を目的とするものであって就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第3条第1項又は第3項の認定を受けたもの及び同条第11項の規定による公示がされたもの (c) 児童福祉法第6条の3第10項に規定する小規模保育事業(家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準第27条に規定する小規模保育事業A型及び小規模保育事業B型に限る。)を行う施設 (d) 児童福祉法第6条の3第12項に規定する事業所内保育事業を行う施設(利用定員が6人以上であるものに限る。) (e) 国、都道府県又は市町村が設置する児童福祉法第59条第1項に規定する業務を目的とする施設のうち同法第6条の3第10項若しくは第12項又は第39条第1項に規定する業務を目的とするもの(専ら一時的に預かり又は宿泊させ必要な保護を行うものを除く) (f) 児童福祉法施行規則第49条の2第3号に規定する施設(いわゆる「幼稚園併設型認可外保育施設」)(専ら一時的に預かり又は宿泊させ必要な保護を行うものを除く) (g) 認可外保育施設のうち、「認可外保育施設指導監督基準」を満たしていることにつき都道府県知事、指定都市の長又は中核市の長から証明書の交付を受けている施設(専ら一時的に預かり又は宿泊させ必要な保護を行うものを除く)	
なお、既存の認定こども園については、構成するそれぞれの施設((1)幼稚園、(a)保育所、(b)認可外保育施設)として、実務の証明を受けることとなります。 ※実務経験は複数施設における合算でも可能です。 ※個々の施設が対象であるかどうかについては、各都道府県において、対象施設一覧を作成することとしていますので、そちらで確認してください。	
幼稚園教諭 実務経験対象施設	
(1) 幼稚園(特別支援学校幼稚部含む) (2) 認定こども園 (3) 保育所 (4) 小規模保育事業(法第6条の3第10項に規定する小規模保育事業(家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準(平成26年厚生労働省令第61号)第27条に規定する小規模保育事業A型及び小規模保育事業B型に限る。))を実施する施設 (5) 事業所内保育事業(法第6条の3第12項に規定する事業所内保育事業(利用定員が6人以上の施設)を実施する施設 (6) 公立の認可外保育施設 (7) へき地保育所 (8) 幼稚園併設型認可外保育施設 (9) 認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書が交付された認可外保育施設 ただし、(9)は次の施設を除くことに注意してください。 ・当該施設を利用する児童の半数以上が一時預かり(入所児童の保護者と日単位又は時間単位で不定期に契約し、保育サービスを提供するもの)による施設 ・当該施設を利用する児童の半数以上が2時から翌日7時までの全部又は一部の利用による施設 ・利用定員が5名以下の施設	
※実務経験は複数施設における合算でも可能です。 ※個々の施設が対象であるかどうかについては、各都道府県において、対象施設一覧を作成することとしていますので、そちらで確認してください。	
2. 実務証明責任者により実務証明書の発行が可能であること。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>国立学校又は公立学校の教員または諸轄庁</li> <li>私立学校の職員はその私立学校を併設する学校法人の理事長</li> <li>勤務している(していた)施設の設置者</li> </ul>	
3. 最低在職年数が以下の条件を満たしていること。	
<幼稚園教諭免許状取得コース(特例)・保育士資格取得コース(特例)> ・3年かつ勤務時間の合計が4,320時間以上の実務経験がある、または実務経験を積める見込みがある(2025年3月31日の申請時まで取得している)こと。	
<幼稚園教諭免許状取得コース(新特例)・保育士資格取得コース(新特例)> ・3年かつ勤務時間の合計が4,320時間以上の実務経験及び、幼保連携型認定こども園で2年かつ2,880時間以上の実務経験がある、または実務経験を積める見込みがある(2025年3月31日の申請時まで取得している)こと。	
※幼稚園教諭免許コースを検討されている方は保育士資格を有していること以外に、高等学校(高卒認定試験含む)以上の学校を卒業している必要があります。出願前に必ずご確認ください。	

・在学期間中、日本国内に在住していることも登録条件となります。



### 3. 登録方法

書類選考の上、登録を許可します。(学力試験等はありません)

※書類不備は、結果通知が遅れる最大の原因となります。出願前に書類の不備が無いか、確認をお願いします。  
 ※登録不許可理由についてのお問い合わせは、一切回答できかねますのでご了承ください。

### 4. 出願日程

出願日程については以下の通りです。出願期間の途中で定員を満たした場合、募集を締め切ります。なお、定員を満たした場合は、ホームページ上にてお知らせいたします。

入学期	出願期間	登録許可証発送日	受講料納入期間
4月生	2023年1月4日 } 2023年3月31日	※出願受付から1ヶ月程度	※書類到着後2週間以内
10月生	2023年7月1日 } 2023年9月30日		

※出願書類の提出は「各出願期間最終日」消印有効です。  
 ※インターネットからの出願に加え、書類一式の提出をもって出願とします。

### 5. 出願に必要な書類

ご提出いただく書類	留意事項
1 登録志願書 (全2ページ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『Post@net』からインターネット出願、必要項目を全て入力後、登録料3万円の納入を行うと、ダウンロード・印刷ができるようになります。</li> <li>・カラー写真(縦4cm×横3cm、3ヶ月以内に撮影した証明写真)</li> </ul>
2 登録資格を証明する書類 (見込不可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教諭免許状取得希望者：保育士証のコピーまたは資格証明書</li> <li>・保育士資格取得希望者：幼稚園教諭免許状のコピーまたは資格証明書</li> </ul>
3 誓約書・保証書・同意書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に『通信教育課程ホームページ』よりダウンロード・印刷して、ご記入ください。</li> </ul>

詳細につきましては、通信教育課程ホームページ『インターネット出願ガイド』をご参照ください。

### 6. 学費

(円)

コース		合計	内訳	
			登録料	受講料
特例 (8単位)	幼稚園教諭免許状取得コース	86,000	30,000	56,000
	保育士資格取得コース			
新特例 (6単位)	幼稚園教諭免許状取得コース	72,000	30,000	42,000
	保育士資格取得コース			
一部科目	幼稚園教諭免許状取得コース	37,000~79,000	30,000	1単位 @7,000
	保育士資格取得コース			

※受講料には、科目修得試験の受験料・再受験料、スクーリング受講料、教材費、補助教材費が含まれています。  
 ※その他、再スクーリング受講料や証明書発行等のご希望による諸経費については、都度の徴収となります。

#### 《学費の納入方法》

登録許可後の手続書類と共に送付する、指定銀行の振込用紙にて、期日までに納入してください。

#### 《注意事項》

1. 受講料、教材費は登録料とは異なり、指定銀行の振込用紙を使用した納入となります。
2. 一度提出した登録手続書類や学費等は、原則として返還できません。十分にご検討の上、提出、納入してください。

# 開講科目一覽

## 幼稚園教諭免許状取得コース

T=テキスト履修 S=スクーリング履修

【教職に関する科目】	免許法施行規則に定める科目		左記に対応する本学における開講科目及び単位数						
	科目	各科目に含める必要事項	科目名	特例			新特例		
				単位数	T	S	単位数	T	S
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教職の職務内容 (研修、服務及び身分保障等を含む)	保育者論	2	2	—	2	2	—	
			2	2	—	2	2	—	
教育の基礎理論に関する科目	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育制度論・日本国憲法	2	2	—	2	2	—	
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	保育課程論	1	1	—	1	1	—	
	・保育内容の指導法 ・教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む)	保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術	2	2	—	1	1	—	
生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目	・幼児理解の理論及び方法	幼児理解の理論と方法	1	1	—	—	—	—	
合計			8	8	0	6	6	0	

## 保育士資格取得コース

教科目	特例による科目	本学開講科目	特例			新特例		
			単位数	T	S	単位数	T	S
社会福祉	福祉と養護	福祉と養護	2	2	—	2	2	—
子ども家庭福祉								
社会的養護Ⅰ								
子ども家庭支援論	子ども家庭支援論	子ども家庭支援論	2	2	—	1	1	—
子育て支援								
子どもの保健	保健と食と栄養	保健と食と栄養	2	2	—	2	2	—
子どもの食と栄養								
乳児保育Ⅰ	乳児保育	乳児保育	2	1	1	1	—	1
乳児保育Ⅱ								
合計			8	7	1	6	5	1

### \* TOPICS \*

一部科目の履修も可能です。

特例制度に必要な8単位のうち、既に特例制度で開講されている科目を他大学等で修得されている方は、一部科目の履修も可能です。

#### ★履修例

##### 幼稚園教諭免許状取得コース

他大学A	保育者論	2
本学	教育制度論・日本国憲法	2
本学	保育課程論	1
本学	保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術	2
他大学B	幼児理解の理論と方法	1

##### 保育士資格取得コース

他大学A	福祉と養護	2
本学	子ども家庭支援論	2
本学	保健と食と栄養	2
他大学B	乳児保育	2

※本学における「乳児保育」はテキスト(T)1単位、スクーリング(S)1単位の計2単位をもって単位取得となります。

# Q&A よくある質問

## 出願について

Q 年齢制限はありますか？

A 年齢制限はありません。

Q 保育学科通信教育課程には、男性も入学できますか？

A 男性も出願可能です。本学の通信教育課程は共学です。ただし通学課程は、女性のみです。

Q 出願時、実務証明書の提出が必要ですか？

A 本学への提出は不要です。本学で単位を取得した後、免許・資格申請をする際に必要になります。

Q 高校を卒業後、保育士試験で資格を取得しましたが、出願は可能ですか？

A 可能です。尚、取得できるのは「幼稚園教諭二種免許状」になります。

Q 出願に必要な書類の「2.登録資格を証明する書類」は3ヶ月以内のものが必要ですか？

A 3ヶ月以内の指定はございません。

Q 「2.登録資格を証明する書類」は旧姓でも大丈夫ですか？旧姓の場合、住民票等をつける必要はありますか？

A 旧姓のものでかまいません。住民票等も提出不要です。

Q 現在、実務経験が満たしていませんが、登録可能でしょうか？

A 登録可能です。  
ただし、特例制度・新特例制度は以下の実務経験を満たしていることが、免許、資格の申請条件となっています。  
※「現行特例・3年特例」は3年かつ4,320時間以上の実務経験  
※「新特例・幼保2年特例」は、3年かつ4,320時間以上に加えて、幼保連携型認定こども園での2年以上かつ2,880時間以上の実務経験  
そのため、単位を修得していても、実務経験を満たさなければ、免許、資格の申請はできません。  
なお、本特例制度は2024年度末までの期間限定の制度となっているため、2025年3月末までに申請する必要があります。  
ご注意ください。

## 通信教育について

Q 通信教育が初めてなので、勉強の進め方や試験などが心配です。

A 科目担当教員に直接質問ができるオフィスアワーや、学習支援システム（CoLS）で学習が進めやすいようにサポートします。また、その他のテキスト学習においては「学習の手引き」により、学習のポイントや課題がまとめられており、教科書を効率よく学習ができるようになっています。学習する上でのことは、キャンパスアドバイザーが全面的にサポートしますので、ご安心ください。

Q 自宅にパソコンが無くても受講できますか？

A Web科目修得試験やスクーリングの受講等に使用するため、パソコンで学習することを前提としています。  
難しい操作は無いのでご自身で勉強いただくか友人・家族の方に教えてもらうなどしてください。

Q スマートフォンから学習支援システム（CoLS）の閲覧や試験の申し込みは可能ですか？

A はい、可能です。

# 出願書類確認表

全ての書類を出願用封筒に入れて、ご提出ください。

出願用封筒：市販の角2封筒（A4サイズの書類が入る封筒）

Post@net から「封筒貼付用宛名シート」をダウンロード、印刷し、封筒に貼付の上、本学まで郵送ください。

確認欄	出願書類	備考
	<b>1</b> 登録志願書（全2ページ）	『Post@net』からインターネット出願、必要項目を全て入力後、登録料3万円の納入を行うと、ダウンロード・印刷ができるようになります。指定箇所に写真を貼り付けてください。（カラー、3ヶ月以内に撮影した証明写真）
	<b>2</b> 登録資格を証明する書類（見込不可）	・幼稚園教諭免許状取得希望者：保育士証のコピーまたは資格証明書 ・保育士資格取得希望者：幼稚園教諭免許状のコピーまたは資格証明書
	<b>3</b> 誓約書・保証書・同意書	事前に『通信教育課程ホームページ』よりダウンロード・印刷して、ご記入ください。

詳細につきましては、通信教育課程ホームページ『インターネット出願ガイド』をご参照ください。

# 履修登録確認表 ※確認用

## ①幼稚園教諭免許状取得コースを選択した方

【特例（全5科目8単位）】授業料56,000円

保育者論	2単位
教育制度論・日本国憲法	2単位
保育課程論	1単位
保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術	2単位
幼児理解の理論と方法	1単位

【新特例（全4科目/計6単位）】授業料42,000円

保育者論	2単位
教育制度論・日本国憲法	2単位
保育課程論	1単位
保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術	1単位

【一部科目】1単位7,000円～7単位49,000円

科目名	特例	新特例
保育者論	2単位	2単位
教育制度論・日本国憲法	2単位	2単位
保育課程論	1単位	1単位
保育内容総論Ⅰ・教育の方法と技術	2単位	1単位
幼児理解の理論と方法	1単位	—
合計 ※1	単位	単位

※1 一部科目は、特例もしくは新特例のいずれかのコースに登録する合計単位数をご記入ください。（1～7単位まで）

②保育士資格取得コースを選択した方

【特例 全4科目・計8単位】授業料56,000円

福祉と養護	2単位
子ども家庭支援論	2単位
保健と食と栄養	2単位
乳児保育 ※1	2単位

【新特例(全4科目/計6単位)】授業料42,000円

福祉と養護	2単位
子ども家庭支援論	1単位
保健と食と栄養	2単位
乳児保育 ※2	1単位

【一部科目】1単位7,000円～7単位49,000円

科目名	特例	新特例
福祉と養護	2単位	2単位
子ども家庭支援論	2単位	1単位
保健と食と栄養	2単位	2単位
乳児保育 ※1・※2	2単位	1単位
合計 ※3	単位	単位

※1 特例の乳児保育は、テキスト(T)1単位とオンデマンドスクーリング(S)1単位の計2単位をもって単位取得となります。

※2 新特例の乳児保育はオンデマンドスクーリング(S)1単位となります。

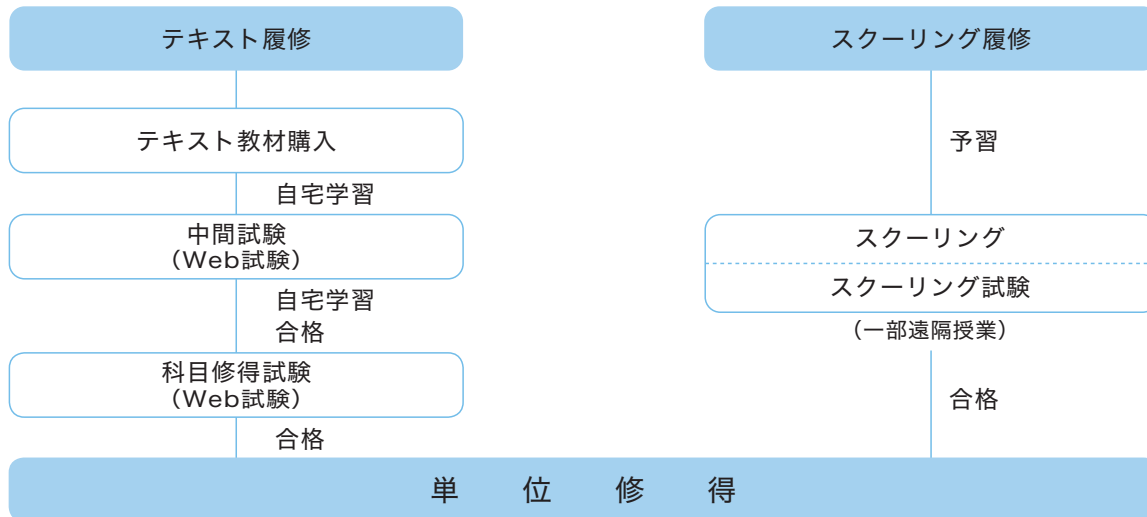
※3 一部科目は、特例もしくは新特例のいずれかのコースに登録する合計単位数をご記入ください。(1～7単位まで)

# 科目等履修生(一般)概要

## ◆科目等履修生(一般)

卒業や資格、免許取得を目的とせず、本学開講科目に興味のある方が、幼児教育・保育分野への理解を深める目的で学習をすることができます。

## 学習の流れ



# 募集について

## 1. 募集コース

T = テキスト履修 S = スクーリング履修

入学区分	募集コース	単位数	科目	修学期間	
小田原短期大学 (本校)	こども福祉コース	8単位	社会福祉	T	2023年4月1日 } 2024年3月31日
			子育て支援	S	
			子ども家庭福祉	T	
			社会的養護Ⅰ	T	
			社会的養護Ⅱ	S	
	こども発達コース	7単位	子どもの保健	T	
			子ども家庭支援の心理学	T	
			子どもの健康と安全	S	
			特別支援教育・保育概論	T	
			障害児保育	S	
	ほいく再学習コース	8単位	健康指導法	T	
			表現指導法	T	
			言葉指導法	S	
			環境指導法	S	
			人間関係指導法	T	
	科目選択	—	正科生で開講している科目を取得することができます。 ※ただし、実習関連等一部取得できない科目がございます。 ※原則、幼稚園教諭免許を取得希望者に限ります。 ☆まずは本学へお問い合わせください。		

※入学時期は4月のみです。

※修学年限は1年です。継続する場合は手続きが必要です。

## 2. 登録資格

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者（2023年3月卒業見込も可）
  - (2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者（2023年3月卒業見込・修了見込も可）
  - (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者）
  - (4) 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者）
  - (5) 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
  - (6) 我が国において、外国の高等学校相当として指定された外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程を修了した者）
  - (7) 高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した者（2023年3月修了見込も可）
  - (8) 指定された専修学校の高等課程を修了した者（2023年3月修了見込も可）
  - (9) 旧制学校等を修了した者
  - (10) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルを保有する者
  - (11) 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者
  - (12) 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者
- ・在学期間中、日本に在住していることも入学条件となります。

## 3. 登録方法

書類選考の上、登録を許可します。（学力試験等はありません）

- ※書類不備は、結果通知が遅れる最大の原因となります。出願前に書類の不備が無いか確認をお願いします。  
 ※不許可理由についてのお問い合わせは、一切回答できかねますのでご了承ください。

## 4. 出願日程

出願日程については以下の通りです。出願期間の途中で定員を満たした場合、それ以降の募集は実施いたしませんので予めご了承ください。なお、定員を満たした場合は、ホームページ上にてお知らせいたしますので、随時ご確認ください。

入学期	出願期間	登録通知発送日	受講料納入期間
4月	2023年1月4日 } 2023年3月31日	出願受付後、1ヶ月程度	書類到着後1ヶ月程度

- ※出願書類の提出は、2023年3月31日消印有効です。  
 ※インターネットからの出願に加え、出願書類一式の提出をもって出願とします。

書類選考にて、登録審査を実施します。学力試験等はありません。  
 選考結果は可否通知書類にてご確認ください。

## 5. 出願に必要な書類

ご提出いただく書類※	留意事項
1 登録志願書（全2ページ）	・インターネット出願、必要項目（全2ページ）を全て入力後、「登録料」の納入を行い、ダウンロード・印刷してください。 ・カラー写真（縦4cm×横3cm、3ヶ月以内に撮影した証明写真）
2 登録資格を証明する書類	卒業証明書等（「出願書類確認表」をご確認ください）
3 誓約書・保証書・同意書	事前ダウンロードページから印刷してご記入ください。

- 1は『Post@net』、3は『通信教育課程ホームページ』よりダウンロードできます。  
 詳細につきましては、通信教育課程ホームページ『インターネット出願ガイド』をご参照ください。

- ※「科目選択」を希望の方は、別途「履修申請書」が必要になります。  
 インターネット出願画面のはじめに⇒事前準備書類ページ内〈科目等履修生（一般）〉をご参照ください。

## 6. 学費

	単位 (円)
登録料	30,000
受講料	1単位 7,000

※別途、テキスト、教材費等がかかります。

### 《学費の納入方法》

登録許可後の手続き書類とあわせて、指定銀行の振込用紙をお送りしますので、期日までに納入してください。

### 《注意事項》

1. 受講料、教材費は登録料とは異なり、指定銀行の振込用紙を使用した納入となります。
2. 一度提出した登録手続き書類や学費等は、原則として返還できません。十分にご検討の上、納入してください。
3. 継続手続きをし、在学期間を延長した際、未修得の単位がスクーリング単位の場合、再受講料として別途7,000円が必要となります。

## 開講科目一覧

「正科生」のページをご確認ください。



# 出願書類確認表

全ての書類を出願用封筒に入れて、ご提出ください。

出願用封筒：市販の角2封筒（A4サイズの書類が入る封筒）

Post@net から「封筒貼付用宛名シート」をダウンロード、印刷し、封筒に貼付の上、本学まで郵送ください。

確認欄	出願書類※3	備考							
	1 登録志願書（全2ページ）	インターネットからの出願後、登録料の納入を行い、ダウンロードして印刷します。指定箇所に写真を貼り付けてください。（カラー、3ヶ月以内に撮影した証明写真）							
	2 登録資格を証明する書類	最終学校の卒業（見込）証明書 その他 下記参照							
		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">その他</td> <td>・高等学校卒業程度認定試験合格</td> <td>高等学校卒業程度認定試験合格証</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外国の学校を卒業された方 （いずれかの書類を提出）※1</td> <td>最終学校の卒業（見込）証明書 調査書（最終卒業学校作成、厳封のこと） 国際バカロレア資格証書</td> </tr> <tr> <td>・外国籍の方</td> <td>特別永住者証明書または在留カードの写し 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書 ※2</td> </tr> </table>	その他	・高等学校卒業程度認定試験合格	高等学校卒業程度認定試験合格証	・外国の学校を卒業された方 （いずれかの書類を提出）※1	最終学校の卒業（見込）証明書 調査書（最終卒業学校作成、厳封のこと） 国際バカロレア資格証書	・外国籍の方	特別永住者証明書または在留カードの写し 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書 ※2
その他		・高等学校卒業程度認定試験合格		高等学校卒業程度認定試験合格証					
		・外国の学校を卒業された方 （いずれかの書類を提出）※1		最終学校の卒業（見込）証明書 調査書（最終卒業学校作成、厳封のこと） 国際バカロレア資格証書					
	・外国籍の方		特別永住者証明書または在留カードの写し 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書 ※2						
	3 誓約書・保証書・同意書	事前ダウンロードページから印刷してご記入ください。							

1 は『Post@net』、3 は『通信教育課程ホームページ』よりダウンロードできます。  
詳細につきましては、通信教育課程ホームページ『インターネット出願ガイド』をご参照ください。

- ・証明書類はすべて出願前6ヶ月以内のものを提出してください。いずれもコピー不可とします。
- ・卒業見込の場合は、卒業証明書の代わりに「卒業見込証明書」をご提出ください。  
また、卒業が確定し次第、早急に卒業証明書をご提出ください。提出期限は4月末日となります。  
期日までに提出がない場合は、登録許可を取り消しますのでご注意ください。

※1 日本語あるいは英語以外の証明書を提出する場合は、証明書の翻訳文を添付してください。

※2 該当の方のみ

※3 「科目選択」を希望の方は、別途「履修申請書」が必要になります。

インターネット出願画面のはじめに⇒事前準備書類ページ内〈科目等履修生（一般）〉をご参照ください。

科目等履修生  
(一般)

# 履修登録確認表 ※確認用

コース選択	単位数	科目	受講料	修学期間	
こども福祉コース	8単位	社会福祉	T	7,000円×8単位 ¥56,000	2023年4月1日 } 2024年3月31日
		子育て支援	S		
		子ども家庭福祉	T		
		社会的養護Ⅰ	T		
		社会的養護Ⅱ	S		
こども発達コース	7単位	子どもの保健	T	7,000円×7単位 ¥49,000	
		子ども家庭支援の心理学	T		
		子どもの健康と安全	S		
		特別支援教育・保育概論	T		
		障害児保育	S		
ほいく再学習コース	8単位	健康指導法	T	7,000円×8単位 ¥56,000	
		表現指導法	T		
		言葉指導法	S		
		環境指導法	S		
		人間関係指導法	T		
科目選択	—	正科生で開講している科目を取得することができます。 ※ただし、実習関連等一部取得できない科目がございます。 ※原則、幼稚園教諭免許を取得希望者のみに限ります。	1単位 ¥7,000		

※受講料には科目修得試験の受講料・再試験料、スクーリング受講料が含まれています。

※一度提出した登録手続き書類や学費等は、原則返却返金できません。

※その他、証明書発行等の希望による諸費用については、都度の徴収となります。

※別途教材費がかかります。

## アクセスマップ

### 小田原短期大学（本校）

〒250-0045 神奈川県小田原市城山4-5-1

#### 小田原駅までの所要時間（目安）

【JR東海道線】

横浜駅から57分

富士駅から63分

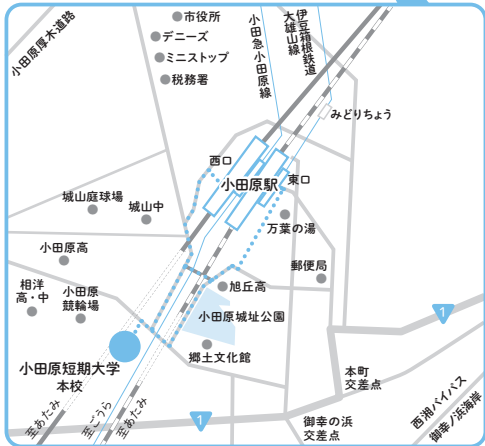
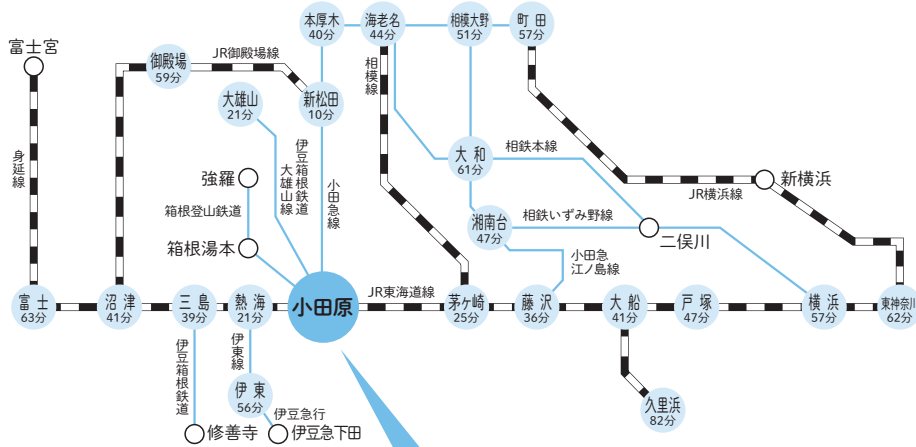
【小田急線】

町田駅から57分

本厚木駅から40分

#### 小田原駅からの所要時間（目安）

小田原駅東口・西口から徒歩15分



## アクセスマップ

### 延岡スクール

(スクーリング会場)

〒882-0054 宮崎県延岡市栄町2-9

#### 延岡駅までの所要時間 (目安)

【JR日豊本線】

大分駅から119分

宮崎駅から64分

#### 延岡駅からの所要時間 (目安)

延岡駅西口から徒歩5分

JR日豊本線

大分

白杵

津久見

佐伯

延岡

門川

日向市

都農

川南

高鍋

宮崎

119分

89分

80分

59分

17分

21分

49分

55分

62分

64分



### 登米スクール

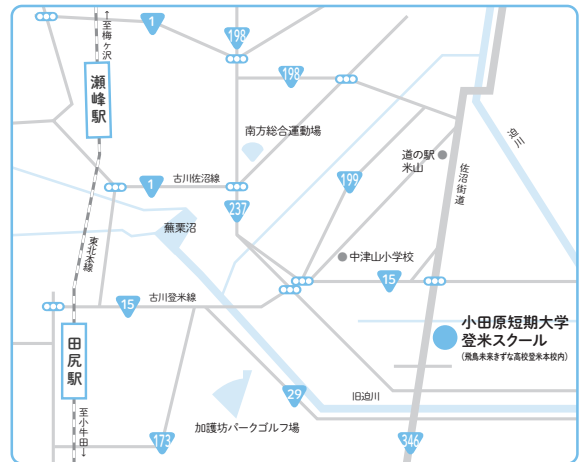
(スクーリング会場)

〒987-0331 宮城県登米市米山町  
中津山字筒場塚215

#### 駅からの所要時間 (目安)

【JR東北本線】

瀬峰駅または田尻駅から車で18分



### 千歳スクール

(スクーリング会場)

〒066-0042 北海道千歳市東雲町3-2-6

#### 駅からの所要時間 (目安)

【JR千歳線】

千歳駅西口から徒歩15分





小田原短期大学

*Odawara Junior College*

保育学科 通信教育課程

〒250-0045 神奈川県小田原市城山4-5-1

TEL 0465-22-0285 (代表)

MAIL [tsushin@odawara.ac.jp](mailto:tsushin@odawara.ac.jp)

URL <http://tsushin.odawara.ac.jp/>